

A-124LW

Be Time

この度はリモコンエンジンスターターをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。また、読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

本書の見かた

⇒ PXX	参照先を記載しています。(XXはページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。

目次

ご使用上の注意	2	オートロック機能について (初期設定は設定 OFF)	45
各部の名称	4	電波特性(電波飛距離について)	46
アンテナユニット	4	電池交換のしかた	47
メインユニット	4	機能設定	48
リモコン	5	Pポジション検出線接続について	48
梱包内容	6	リモコンスイッチでの各種設定内容の 変更方法について	48
取付け	7	ターボタイマーについて (初期設定は設定 OFF)	57
取付けの注意	7	セル時間(セルストップ方式、 セル延長時間、セルストップ時間)の 設定について	58
コネクター接続、アンテナユニットの 固定方法	9	セキュリティ威嚇7色LEDとは	59
初期設定動作確認	15	セキュリティ威嚇7色LEDの設定	59
初期設定動作確認対処方法	18	付録	60
12P コネクターの接続	19	オプションについて	60
フットブレーキ配線	21	運転するには	61
L 端子配線	22	スリープ機能について	62
「当社別売セキュリティシステム」 運動について	25	IDコードの再登録	63
ワイヤレスドアロック機能について	28	IDコードの追加登録	65
カーテン検出による安全機能	33	通信周波数切替方法について	67
警告ステッカーの貼り付け場所	35	故障かな?と思ったら	72
イモビ対応アダプターの取付け	35	アフターサービスについて	75
メインユニットの固定方法	36	製品仕様	76
動作不良エラー確認表	38	保証規定	78
リモコンの使用方法	40	A-124LW 保証書	裏面
エンジンを始動させる	40		
エンジンを停止させる	42		
アンサーバック音の切替えについて	43		
ワイヤレスドアロック機能の使用方法	44		

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

⚠ 警告 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

事故・火災等の危険性があるため、下記の状態や場所での使用は避けてください。

- メインユニットハーネスと車種別専用ハーネスに必ず市販の絶縁テープを巻いて保護してください。各種ハーネスと車両金属部が接触してショートし、メインユニットの故障、車両ヒューズ切れなどの本体の動作不良になる恐れがあります。また絶縁テープを巻いた各種ハーネスをダッシュボード内（コラムカバー内等）へ収納する際、狭いスペースの為、各種ハーネスと車両金属部が接触してショートしないようにしっかりと固定し十分に気をつけて取付けを行ってください。車両金属部の接触によるショートが原因の本体動作不良または車両や車載品の故障、事故等の付随的損害については当社では一切責任を負いません。
- 排気ガス中毒の危険性がある換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。
- ボディカバーを掛けたままの使用はしないでください。
- 火災の危険性がある、燃えやすい物の近くでは使用しないでください。
- 暴走事故を防止するため、キーを OFF にする時は AT シフトレバーを  (パーキング) に入れ、パーキングブレーキを確実にかけてから行ってください。特に、日産 AT 車で Be-2500(キーロックリレーアダプター)を装着した車は、 (パーキング) 以外でもキーを抜くことができるため、必ず操作方法を守ってください。
- アイドリングの直後や本製品作動中にエンジン点検等を行うと、火傷をする恐れがありますので、エンジンルーム内を十分に冷ましてから行ってください。
- お子様やペットを車に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。
- リモコンはお子様の手の届かない場所に大切に保管してください。
- マニュアルミッション車には本製品を取付けしないでください。事故になる危険性があります。
- 一部の車両で本製品をつけることによりターボタイマー使用時にシフトレバーが  (パーキング)、 (ニュートラル) 位置以外でキーが OFF まで回りキーが抜けてしまい、車両が動きだしてしまう可能性があります。その場合、オプション Be-963(カーテンシ線・Pポジション線兼用)又は Be-973(シフト検出アダプター)等が必要になる場合があります。また、エンジンを止める時は必ずシフトレバーが  (パーキング) の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。

△ 注意

機能面に支障を起こす可能性がある下記の使用に十分注意してください。

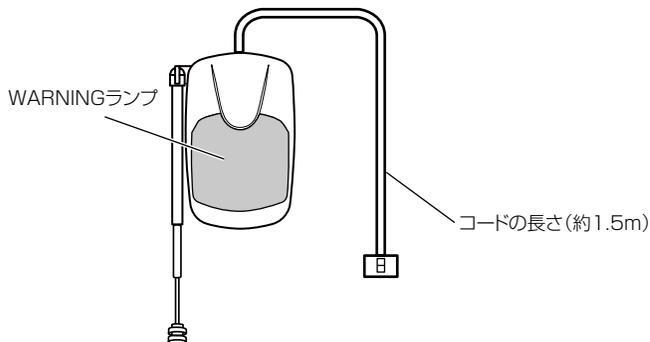
- 本製品は日本国内のみ使用できます。海外では使用しないでください。
- リモコンのケースやアンテナを手等で包み込むと電波の飛距離が短くなります。
- リモコン裏面の技術基準適合証明ラベルは、はがさないでください。
- リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、罰せられることがあります。
- ターボタイマー（スターター含む）や他社盗難警報機との併用取付けはできません。
- 本機作動中は、車の仕様によりキーレスエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックが作動しない事があります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
- 本製品作動中、オートポジションステアリング及びドライビングポジションシステムが作動しない事があります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
- スターターやターボタイマーを作動する時、車のオートライト機能を「AUTO」にすると、ヘッドライトが点灯したままになる車両は、降車時にスイッチを OFF にしてからキーを抜いてください。
- 公道でエンジンをかけたまま車両を無人で放置すると、道路交通法違反となります。必ず私有地でご使用ください。（公道とは、公共施設・スーパー・月極等の駐車場や河川敷・神社の境内等、不特定多数の車が入り出できる場所を含みます）
- 一部車両にてエンジンスターター作動中エアコンやヒーターが使用できない場合がございますが、故障ではありません。
- リモコンは防水加工されていません。雨、雪、水等のかかる場所や濡れた手でのご操作は避けてください。リモコン内部に水分が浸入した場合、故障の原因となり修理不可となる事があります。

※ 本機取付け後にエンジン始動及び停止した時、車載のスピーカーから異音が鳴ることがありますが、異常ではありません。

各部の名称

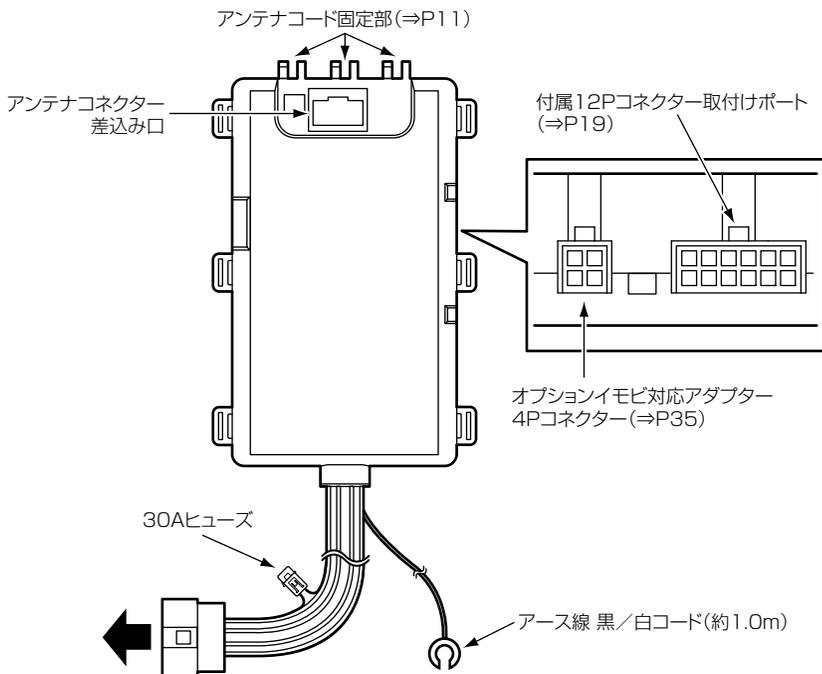
アンテナユニット

アンテナユニット固定方法は⇒ (P10)



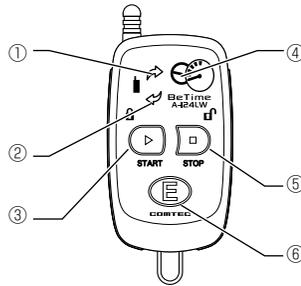
メインユニット

メインユニット固定方法は⇒ (P36)



車種別専用ハーネス(別売)

リモコン



電池の入れ方は⇒ (P47)

No.	名称	No.	名称
①	送信ランプ LED (赤)	④	エンジン始動確認ランプ LED (橙)
②	受信ランプ LED (青)	⑤	ストップ / UNLOCK スイッチ (■)
③	スタート / LOCK スイッチ (▶)	⑥	エンジンスイッチ (E)

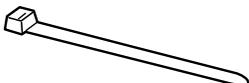
リモコンの操作方法

動作内容	操作方法
エンジンスタート	E → ▶
エンジンストップ	E → ■
車両ドアロック&当社別売セキュリティシステム スタート (オプション接続時)	▶ → ▶
車両ドアアンロック&当社別売セキュリティシステム ストップ (オプション接続時)	■ → ■
車両ドアロックのみ (オプション接続時)	▶ 2秒長押し
車両ドアアンロックのみ (オプション接続時)	■ 2秒長押し
タイプ1 スライドドアを開ける / 閉める ※オプション「オートスライドドアユニット」接続時	▶ → E
タイプ2/タイプ3 スライドドアを開ける ※オプション「オートスライドドアユニット」接続時	■ → E
タイプ2/タイプ3 スライドドアを閉める ※オプション「オートスライドドアユニット」接続時	▶ → E

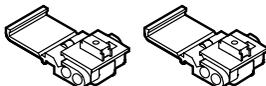
各部の名称

梱包内容

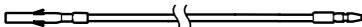
インシュロック (1本)



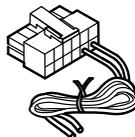
エレクトロタップ (2個)



当社別売
セキュリティシステム接続線 (茶)(1本)



12P コネクター (1個)



警告ステッカーシート (1枚)



アンテナユニット固定用両面テープ
(1枚)



取付け

取付けの注意

⚠ 注意

取付けには専門知識が必要です。取付けはお買い上げの販売店又は、カーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身で取付けられた場合は、保証が受けられません。

取付ける前に下記の点に注意して、本機の取付けを行ってください。

取付けに必要な工具等

- ・サーキットテスター ・ドライバー (+) ・ニッパー ・絶縁テープ
 - ・プライヤー ・スパナ又はボックスレンチ ・保護テープ
- ※ その他の工具が必要になる場合があります。

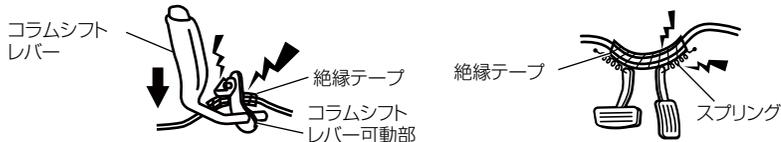
シフトレバーとパーキングブレーキ (サイドブレーキ) について

シフトレバーを  (パーキング) にして、パーキングブレーキ (サイドブレーキ) を確実にかけ、キーを抜きます。



配線について

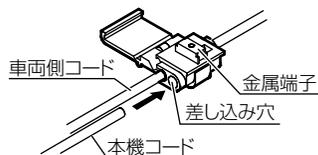
ダッシュボード内 (コラムカバー内等) へ収納する際、車両金属部 (コラムシフトレバー可動部、ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄板等) に各種ハーネスが接触してショートしてしまいメイン、ユニットのヒューズ切れ、メインユニット故障、車両ヒューズ切れなど本体の動作不良となりますので、必ず市販の絶縁テープを貼って保護し、各種ハーネスと車両金属部が接触しないように取付けを行ってください。



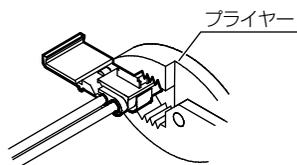
取付け

エレクトロタップ使用方法について

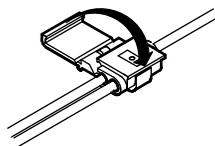
- 1) 車両側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、本機コードは差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。



- 2) プライヤーで金属端子を完全に押し込みます。



- 3) カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。



- 4) 絶縁テープを巻いて作業終了です。



コネクター接続、アンテナユニットの固定方法

取付け手順における注意点

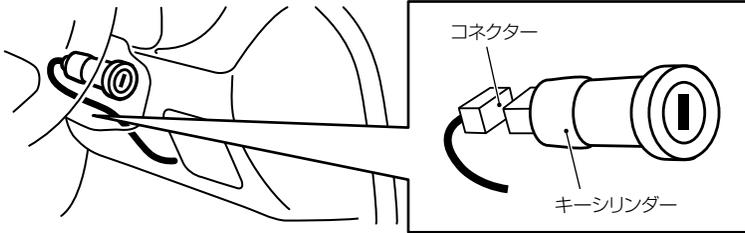
取付け手順（⇒ P9～14）通りに接続を行わないとメインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴らない場合があります、初期設定動作確認を行うことができません。

必ず取付け手順に従って取付けを行ってください。

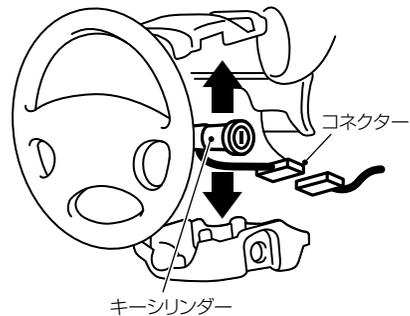
1) 車のキーシリンダーから出ているコネクターを探す

※コネクターの場所は車種によって異なります。（ほとんどの車が下記のいずれかにあてはまります）車種によってはコネクターが2ヶ所存在する場合もあります。

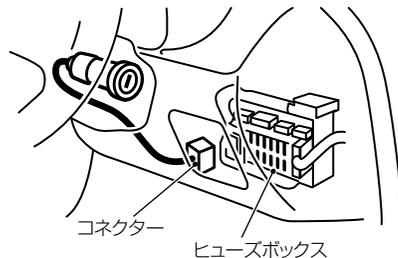
① キーシリンダー直付けタイプ



② キーシリンダーから10cm～20cmの場所にあるタイプ

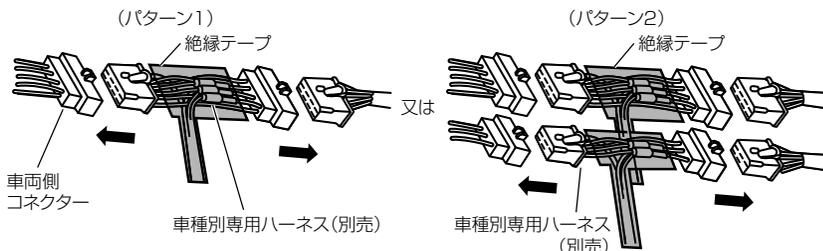


③ ヒューズボックス、またはヒューズボックス付近にあるタイプ



取付け

- 2) 車両側のコネクタを外し、外したコネクタ間を車種別専用ハーネス（別売）で接続してください。その際、市販の絶縁テープを巻いて配線保護をしてください。



⚠ 注意

- 車種別専用ハーネス（別売）を接続しただけでは、エンジンは始動しません。もしエンジン始動した場合は、そのコネクタは違いますので別のコネクタを探してください。
- 専用ハーネスによっては車両側のコネクタを2ヶ所外し、接続する必要があります。（パターン2参照）

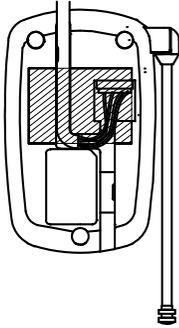
- 3) アンテナユニットの取付け・配線

⚠ 注意

- アンテナユニットは視界の妨げになる場所（運転席／助手席から前のガラス面等）に取付けないでください。
- アンテナユニットは、エアバッグ（助手席・サイド含む）の作動に影響の無い場所に取付けてください。
- アンテナユニットを取付ける際は、あらかじめ汚れや脂分をよくふきとってから貼ってください。
- アンテナを可変させる場合は必ず根元の金具を持って動かしてください。先端を持って無理に可変させますと、アンテナが変形する可能性がありますので十分ご注意ください。

- ① アンテナユニットの取付けは、アンテナユニット本体裏の  部に、付属の両面テープを貼り、ダッシュボード上に取付けてください。

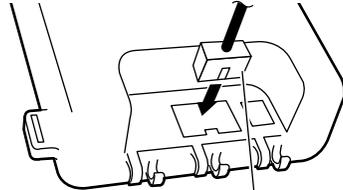
(アンテナユニット裏側)



(取付け例)

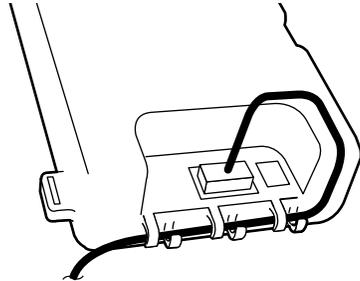


- ② アンテナコードの端子をメインユニットのアンテナコネクタに差込みます。



※向きに注意

- ③ アンテナコードをメインユニットのコード固定部にしっかりと固定します。



- ④ アンテナユニットのロッドアンテナを全て伸ばした状態でご使用ください。



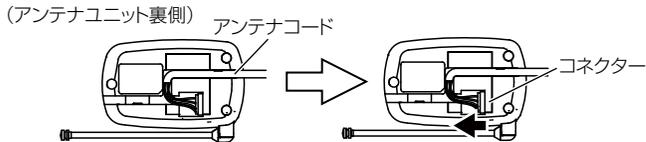
取付け

👉 アドバイス

アンテナユニット本体の取外し

アンテナユニット本体裏のアンテナコードの固定を外し、コネクタを押しながら、矢印の方向へ外します。

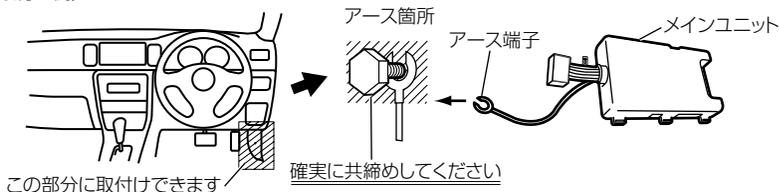
※アンテナコードを引っばらないでください。コードが破損、断線する恐れがあります。



4) アース端子の取付け

アース端子（黒／白コード）を、塗装されていないボディまたはフレームのビスへ確実に共締めしてください。

（取付け例）



この部分に取付けできます

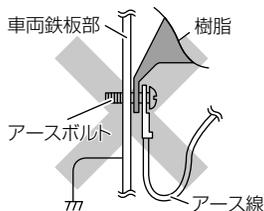
確実に共締めしてください

⚠ 注意

アースボルトとアース線の間に樹脂などを挟んでいる（右図）と初期設定動作確認が行えない為、車両鉄板部に確実に共締めしてください。

取付け手順通り（⇒P9～14）に接続を行なわないとメインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴らない場合があります、初期設定動作確認を行なうことができません。

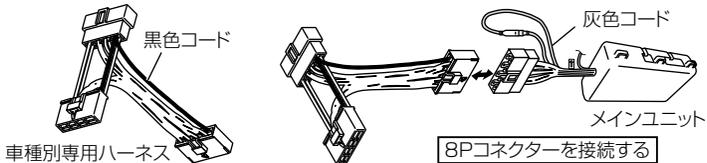
必ず取付け手順に従って取付けを行なってください。



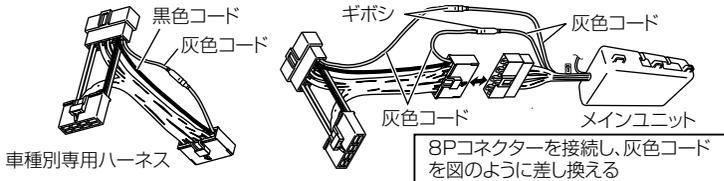
5) 4) のアース端子の取付けを行ってから専用ハーネスの 8P コネクタとメインユニットの 8P コネクタを接続します。

下記の車種別専用ハーネスの種類を確認し、配線してください。

- ・車種別専用ハーネスに黒色コードが 1 本の場合



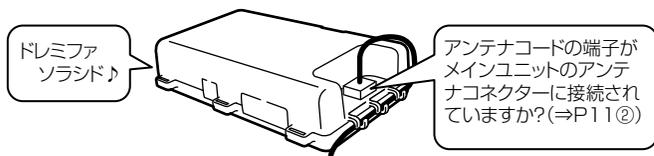
- ・車種別専用ハーネスに黒色コードと灰色コードが各 1 本の場合



※ 上記の車種別専用ハーネスを使用する場合、灰色コード差替え作業を行わないと車両自体の動作不良（エアコン、オートクルーズ動作不良、ABS ランプ点灯など）を起こす恐れがあります。

取付け

- 6) 5)の接続が終わると、メインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴ります。



👉 アドバイス

メインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴らない場合

- ・再度 1)～5) の取付け及び、接続を再確認してください。
- ・アンテナコードの端子をメインユニットのアンテナコネクタに差し込んでいないと接続確認メロディが鳴りません。必ずアンテナコードの端子を確実に差し込んでください。(⇒P11 ②)
- ・5) 専用ハーネスの8P コネクタとメインユニットの8P コネクタを一度抜き差しして約 **10秒** 待ってから再度接続を行ってください。

- 7) アンテナユニットの WARNING ランプが同時に点滅を行います。

- ※ 必ずキーは OFF の状態にしてください。キーを ON にすると消灯します。
- ※ WARNING ランプが点滅しない場合は 3) の接続を再確認してください。接続確認をし、それでも WARNING ランプが点滅しない時はアンテナコードの断線の場合があります。



初期設定動作確認

〈重要〉初期設定動作確認操作を行わないと本機は動作しません。

事前確認事項

- ・取付け及び接続（⇒ P9 ～ 14）後、接続確認メロディ「ドレミファソラシド」を確認してから、必ず下記の初期設定動作確認を行ってください。
- ・お客様の車のバッテリーの交換や、本機の付け替えなどで、バッテリーや車種別専用ハーネスを取りはずした場合には下記の初期設定動作確認及び ID コードの再登録を行ってください。（⇒ P63）
- ・初期設定動作確認前に安全のため、必ずパーキングブレーキをかけてください。
- ・下記の手順に従って初期設定動作確認を行ってください。（⇒ P18）

初期設定動作確認手順

以下の操作を行わないとリモコンでエンジン始動できません。

- 1) キーを ACC（アクセサリ）の位置まで回してとめてください。



Q: この時、ラジオ等アクセサリ電源が ON になりますか？

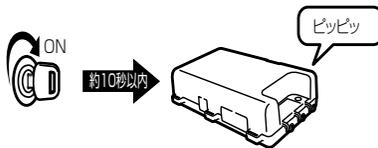


- 2) キーを ON の位置まで回してとめてください。

約 10 秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。

※ アース線 黒/白コードの取付け・固定が確実にされているか再確認してください。

Q: この時、メーターパネル等の電源が ON になり、メインユニットのブザー音が約 10 秒以内に「ピッピッ」と鳴りますか？



⚠ 注意

セルを回さずにキーを ON で 5 秒以上停止した場合に、メインユニットから毎回ブザー音が「ピッピッ」と鳴りますが、本体の仕様のため、異常ではありません。



取付け

3) 2) の操作後、キーを OFF にせず 10 秒以内 にエンジンを始動してください。エンジンが始動している状態で 約 5 秒後 にメインユニットのブザー音が「ピービッピッ」と鳴ります。

なお、L 端子線を接続している場合は、メインユニットのブザー音が「ピーピー」に変わります。(⇒ P22 ~ 24)

⚠ 注意

※この操作を行うことにより、車両情報を認識します。

上記操作を行い、メインユニットのブザー音が鳴らないとリモコンでエンジン始動できません。

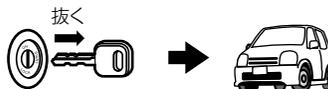
ブザー音が鳴らない場合は、もう一度 2) から動作確認操作を行ってください。



Q: この時、エンジンが始動しますか？



4) キーを OFF の位置まで回して、抜いてください。



Q: この時、エンジンが停止しますか？



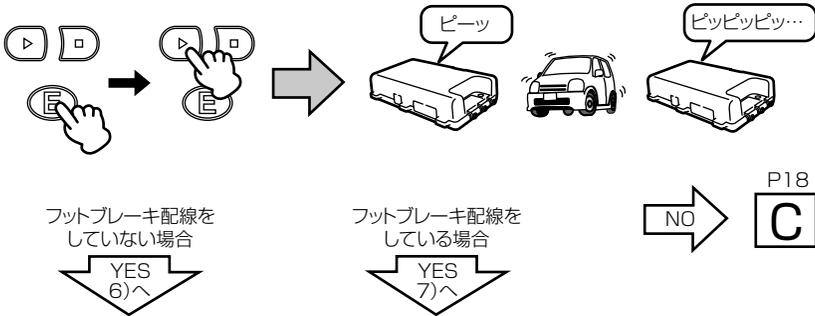
5) リモコンのエンジンスイッチ(E)を押した後、リモコンのLEDランプ(赤)が点滅している間にスタートスイッチ(▶)を押してください。

Q: この時、メインユニットのブザー音が「ピーッ」と1秒間鳴り、エンジンが始動しますか？

また、アイドリング開始後、メインユニットのブザー音が「ピッピッピッ…」と鳴りますか？

アドバイス

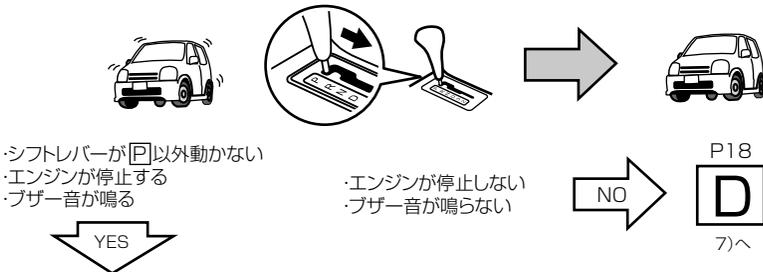
- ・アイドリング中でのメインユニットからのブザー音「ピッピッピッ…」を消音する事はできません。
- ・メインユニットのブザー音が「ピーッ」と鳴る場合は、ディスプレイモードに設定されていますので、設定を無効にしてください。(⇒P56)
- ・エンジン始動してもエアコンが効かない場合やオートクルーズ等のランプが点灯する場合は灰色の配線の差替えを行ってください。(⇒P13)



6) A/T シフトストップ機能確認をしてください。エンジン始動中にシフトレバーを **P** (パーキング) 及び **N** (ニュートラル) 以外の位置にしてください。(一部車両でシフトレバーがロックされて動かない場合があります)

Q: シフトレバーが動く場合、エンジンが停止しますか？

また、メインユニットのブザー音が「ブーブーブー、ブーブーブー」(P/N 検出エラー音)と鳴りますか？



すべての動作は正常です。

取付け

7) 前頁6) にて **□** へ進んだ場合フットブレーキ検出線 (黄) を接続後、フットブレーキを踏んでください。(⇒ P21)

Q: この時、エンジンが停止し、メインユニットのブザー音が「ブー、ブー」(フットブレーキ検出エラー音) と鳴りますか？



すべての動作は正常です。

※再度、エラー音を確認したい場合は、リモコンのエンジンスイッチ (E) を押した後、リモコンのLED ランプ (赤) が点滅している間にストップスイッチ (■) を押してください。

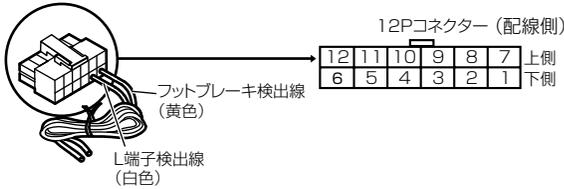
初期設定動作確認対処方法

下記の **A** ~ **E** の各対処方法を行った場合は、再度初期設定動作確認を 1) から始めてください。

A	1. 専用ハーネスの配線場所が違っていませんか？ (⇒ P9 ~ 14) 2. 専用ハーネスの配線方法が違っていませんか？ (⇒ P9 ~ 14) 3. お車に適した専用ハーネスを使用していますか？ (車種別専用ハーネス表で確認するか 弊社ホームページ http://www.e-comtec.co.jp 車種別適合表にて確認してください。) 4. アースが不安定な場合やアース線 (黒/白コード) をボディアースへ取付け固定していますか？ →アース端子をしっかりと固定してください。(⇒ P12)
B	ターボタイマーが作動していませんか？ (⇒ P57) →ターボタイマーの設定を「設定 OFF」にしてください。
C	1. 動作不良エラーブザー音が鳴る時 →動作不良エラーブザー音を確認し、エラーを解除してください。(⇒ P38 ~ 39) 2. 動作不良エラーブザー音が鳴らない時 →セルが短くエンジンが始動しない場合は、セルストップ時間の調整をしてください。(⇒ P50 ~ 52) →セル自体回らない場合、スマートキー装着車、インテリジェントキー装着車、イモビライザー装着車の可能性があります。 別売のオプションで対応してください。(⇒ P60) リモコン電池の電圧を確認後、ID コードの再登録を行ってください。(⇒ P63)
D	フットブレーキ配線を行ってください。(⇒ P21)
E	フットブレーキ配線を確認してください。(⇒ P21)

12P コネクターの接続

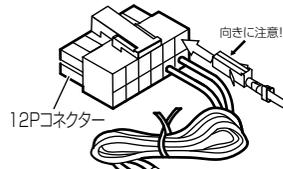
12P コネクターにはオプションを接続することができます。(⇒ P20)



取付け方

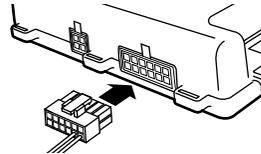
- 1) 付属 12P コネクターに配線する端子をしっかりと差込みます。

※ 一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。



- 2) 付属 12P コネクターをメインユニットにしっかりと差込んでください。

※ オプション等を後から取付けする場合は一旦、コネクターを抜いてから接続してください。



取付け

12P コネクタ接続内容

NO.	名称	機能説明
1	フットブレーキ (⇒ P21)	フットブレーキ配線をする場合にフットブレーキ検出線 (黄色) を使用します。
2	L 端子 (⇒ P22 ~ 24)	L 端子配線をする場合に L 端子検出線 (白色) を使用します。
3	オプション 1 (イモビ/セキュリティアラーム対応アダプター)	当社オプション Be-IL505/Be-IL506/Be-976 (イモビ/セキュリティアラーム対応アダプター) を接続するために使用します。
4	オプション 2 (オートスライドドアユニット)	当社オプション Be-975 (オートスライドドアユニット) を接続するために使用します。
5	カーテシ (オプション) (⇒ P33)	当社オプション Be-970 (ドアロック配線キット) 又は、Be-963 (カーテシ線) を接続するために使用します。リモコンでエンジン始動中、ドアを開けるとエンジンを約 15 秒後停止又は、即強制停止できます。ターボタイマー作動中はドアを開けてもエンジンは停止しません。
6	未使用	
7	当社別売セキュリティシステム接続 (⇒ P25)	A-124LW のリモコンで当社別売セキュリティシステムのスタート/ストップ操作をするときに付属のセキュリティシステム接続線 (茶色) を使用します。
8	ドアアンロック (オプション) (⇒ P28 ~ 32)	当社オプション Be-970 (ドアロック配線キット) ドアアンロック線を接続するために使用します。
9	ドアポジション (オプション) (⇒ P28 ~ 32)	当社オプション Be-970 (ドアロック配線キット) ドアポジション線を接続するために使用します。
10	ドアロック (オプション) (⇒ P28 ~ 32)	当社オプション Be-970 (ドアロック配線キット) ドアロック線を接続するために使用します。
11	ハザード (オプション)	当社オプション Be-968 (アンサーフラッシュリレー) を接続するために使用します。ドアロック・ドアアンロックと連動しハザードが点滅します。
12	P ポジション (オプション) (⇒ P48)	ターボタイマー作動中、シフトレバーが回 (パーキング) 以外でキーが抜ける車両にオプション Be-963 (P ポジション線) を接続します。

フットブレーキ配線

⚠ 注意

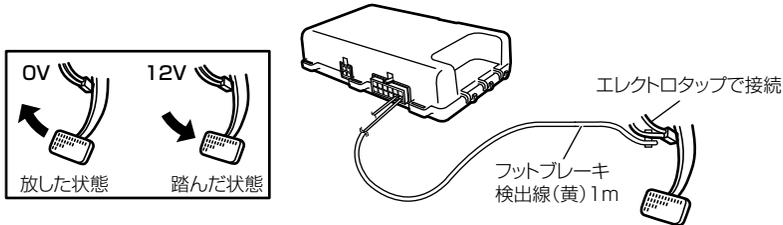
一部の車種は、シフトポジション検出が正常にできない場合があります。その場合は、フットブレーキ配線をし、フットブレーキを一度踏んでください。

※シフトチェンジの際、必ずフットブレーキを踏むので、シフトポジション検出のかわりとして使用します。

- ・日産の一部車両（Y33系のシーマ、セドリック、グロリアは、バードビューナビゲーション装着車に限る）はパーキングブレーキへ配線してください。
- ・スターター作動時または、ターボタイマー作動時にシフトレバーをP/N以外の位置へ動かした時にエンジンが止まらない車種。
- ・シフトレバーが[P]（パーキング）の位置で、リモコンスタート時にメインユニットからブザー音が「ブーブーブー、ブーブーブー」と鳴った場合。（P/N検出エラー）
- ・エアバッグ等の警告ランプが点灯する車種。

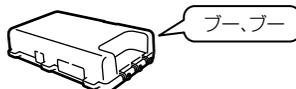
- 1) メインユニットのフットブレーキ検出線（黄）をフットブレーキへ配線してください。

フットブレーキを放した状態で0V、踏んだ状態で12Vの線にフットブレーキ検出線（黄）をエレクトロタップで接続します。



※エレクトロタップの使用方法は(⇒P8)

- 2) 接続後必ずフットブレーキを一度踏んでください。
フットブレーキ検出線からのブレーキ認識が必要となります
(この時メインユニットからブザー音は鳴りません)
- 3) リモコンでエンジン始動中、フットブレーキを踏んでエンジンが止まる事を確認してください。(動作不良エラー確認表(⇒P38～39)のNo.1のブザー音「ブー、ブー」が鳴っている事を確認してください)



※ リモコンでエンジン始動中、フットブレーキを踏んでエンジンが止まらない場合1)からの取付けを確認してください。

取付け

L 端子配線

本機には、2種類（自動検出・L端子検出）のエンジン始動検出方法があります。ほとんどの場合、自動検出でエンジン始動を行なえますが、一部車種でできない場合があります。

セル時間の設定（⇒ P50～52）をしているのにも関わらず、下記のような症状になる場合は、L端子配線を行ってください。

- ・ エンジンがかかたり止まったりをくり返す。
- ・ 寒い時はエンジンがかからないが、暖かい時はかかる。

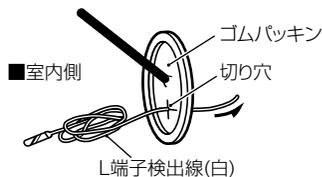
※ ディーゼル車や寒冷地にてご使用される方はL端子検出を行うと、より確実なエンジン始動が可能です。

以下の手順でL端子配線を行ってください。

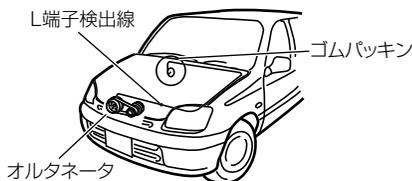
⚠ 注意

シフトレバーを **Ⓟ**（パーキング）にしてキーを抜いてから作業を行ってください。

- 1) エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、線が通る場所にカッターナイフ等で穴を開けL端子検出線（白）を図の様に室内側から入れてください。

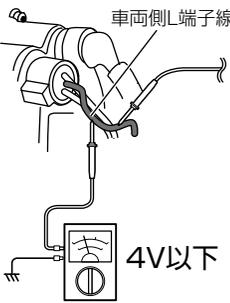
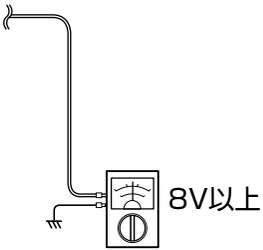


- 2) 車両のL端子線（オルタネータの所にあります）まで、本機L端子検出線（白）を配線してください。



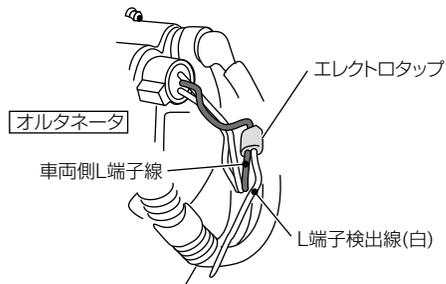
3) 車両のオルタネータにある L 端子線を探してください。

車両側 L 端子の見分け方

キーの位置	ON(セルまで回さないでONで止める)	ON(セルを回してエンジンをかける)
		
エンジンの状態	エンジン停止時 	エンジン始動時 
電圧 ※ 電圧の確認はサーキットテスターで確認してください。	<p>オルタネータ</p>  <p>車両側L端子線</p> <p>4V以下</p>	 <p>8V以上</p>

※エンジン始動時 8V 以下の場合は Be-966 (L 端子検出アダプター) が必要です。

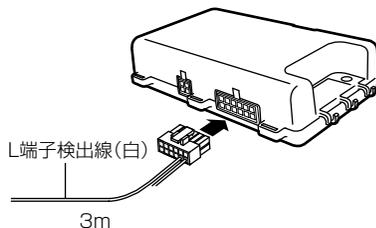
4) 車両側の L 端子線と L 端子検出線 (白) を付属のエレクトロタップで接続してください。



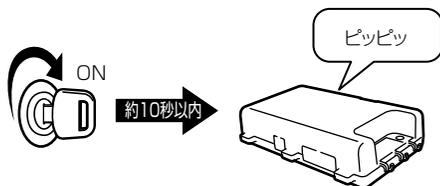
※エレクトロタップの使用方法は(⇒P8)

取付け

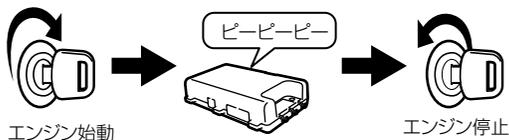
- 5) メインユニットに 12P コネクターを差込んでください。



- 6) キーを ON の位置まで回してとめてください。
約 10 秒以内にメインユニットブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



- 7) 6) の操作後、キーを OFF にせずに 10 秒以内にエンジンを始動してください。エンジンが始動している状態で約 5 秒後にメインユニットからのブザー音が「ピーピーピー」と鳴ります。



※ 7) のメインユニットのブザー音が鳴らない場合は、再度 1) から確認してください。

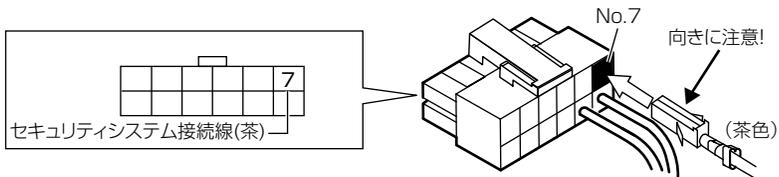
「当社別売セキュリティシステム」連動について

当社別売セキュリティシステムと接続する

A-124LW のリモコンで当社別売セキュリティシステムのスタート/ストップ操作ができます。

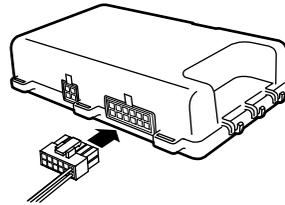
(当社別売セキュリティシステムと接続するには付属のセキュリティシステム接続線(茶)を使用します)

- 1) 12P コネクタの No.7 に付属のセキュリティシステム接続線(茶)をしっかりと差込んでください。

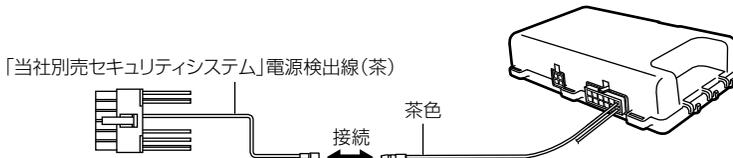


※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。

- 2) メインユニットに 12P コネクタを差込んでください。



- 3) 12P コネクタの No.7 から出ているセキュリティシステム接続線(茶)と当社別売セキュリティシステムから出ている電源検出線(茶)を接続してください。



※キー ON で当社別売セキュリティシステムシリーズが作動停止します。

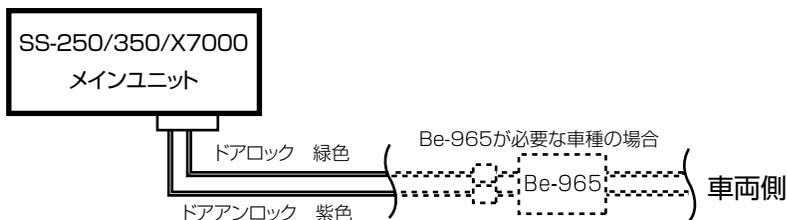
⚠ 注意

一部の当社別売セキュリティシステムは A-124LW のリモコンでスタート/ストップ操作ができませんので、購入前に必ず「エンジンスターター車種別専用ハーネス適合表」のエンジンスターターリモコンとセキュリティシステムのリモコンの操作互換表をご確認ください。

取付け

下図のような配線を行うことにより、A-124LWのリモコン及び当社別売セキュリティシステムのリモコンでドアロック・ドアアンロックさせることができます。(⇒ P28 ~ 32)

・SS-250/350/X7000の場合 (セキュリティ側で配線を行ってください)



A-124LWのリモコンで当社別売セキュリティシステムをスタート/ストップさせる

リモコンの操作方法	
スタートさせる	ストップさせる
<p>1. スタートスイッチ (▶) を押し、LEDランプ (赤) を点滅させ、点滅している間に再度スタートスイッチ (▶) を押します。</p> <p>2. アンテナユニットがリモコンからの電波を受信すると、当社別売セキュリティシステムがスタートします。</p>	<p>1. ストップスイッチ (■) を押し、LEDランプ (赤) を点滅させ、点滅している間に再度ストップスイッチ (■) を押します。</p> <p>2. アンテナユニットがリモコンからの電波を受信すると、当社別売セキュリティシステムがストップします。</p>

※ ドアロック配線をしている場合に、セキュリティシステムを起動させるとドアロック機能も連動して作動します。

警報中の当社別売セキュリティシステムをストップさせる

当社別売セキュリティシステムが作動中又は警報中の時に、A-124LW のセキュリティストップ操作又は、キーでエンジンを始動すると、作動及び警報が停止します。

⚠ 注意

A-124LW 又は、当社別売セキュリティシステムのリモコンで、セキュリティスタート・ストップ作動させる場合は、誤作動防止とセキュリティ機能向上のために下記の事項をお守りください。

- A-124LW のリモコンでセキュリティ連動スタートした場合は、必ず A-124LW のリモコンでセキュリティストップしてください。
- 当社別売セキュリティシステムのリモコンでセキュリティスタートした場合は、必ず当社別売セキュリティシステムのリモコンでセキュリティストップしてください。

取付け

ワイレスドアロック機能について

本機リモコンでドアロック・ドアアンロック作動させることができます。
※ オプション Be-970 (ワイレスドアロック配線キット) が必要になります。

⚠ 注意

一部車両でエンジンスターター又は、ターボタイマーのアイドル中に、純正のキーレスエントリーが作動できないものがあります。

接続方法について

自動車メーカーや車種によってワイレスドアロック接続方法が異なります。また、オプション Be-970 (ワイレスドアロック配線キット) と Be-965 (ワイレスドアロックアダプター) を必要とする車種がありますので注意してください。

A タイプ (マイナスコントロール) …… オプション Be-970 (ワイレスドアロック配線キット) だけで作動するタイプ

B タイプ (プラスコントロール) …… オプション Be-965 (ワイレスドアロックアダプター) が必要なタイプ

詳しくは、最新のビータム車種別専用ハーネス適合表をご確認ください。
ホームページ <http://www.e-comtec.co.jp>

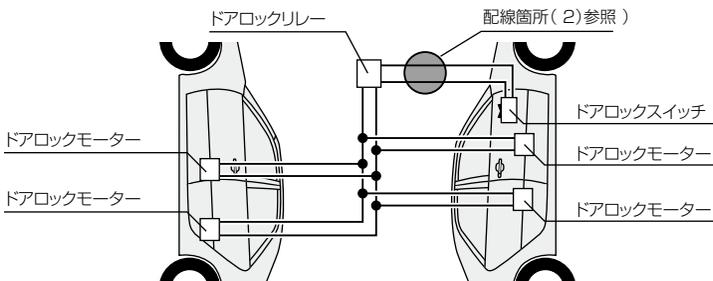
※但し、下記に示す車両には使用できません。

- ・弊社車種別専用ハーネス適合表にてドアロック・ドアアンロック作動可能と明記のない車種。
- ・トヨタ車以外で、純正キーレスがついていない車種。
- ・一部多重通信車。
- ・集中ドアロック制御できない車種。
- ・弊社以外のセキュリティシステム装着車。(ドアロック連動タイプ)

接続方法

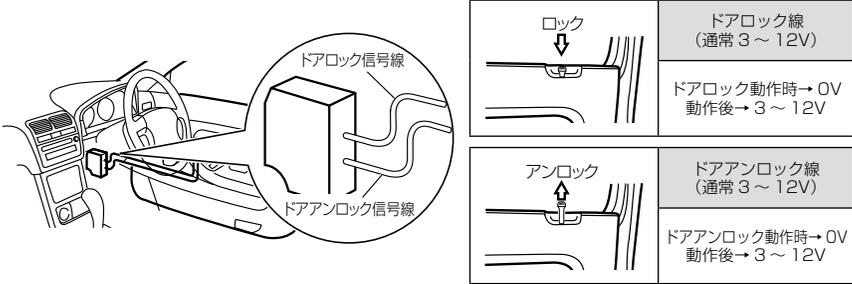
A タイプ …… オプション Be-970 だけで作動するタイプ

1) 接続概要図



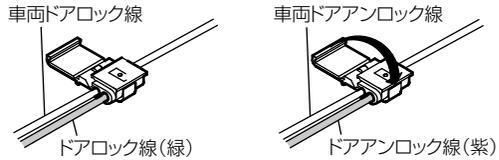
2) 車両側ドアロック・ドアアンロック線を探してください。

ドアロックレシーバー、ドアロックリレー、ドア内へ配線されているハーネス、ドア内の集中ロックまわりから探し出します。



※場所及び電圧は車種によって異なります。

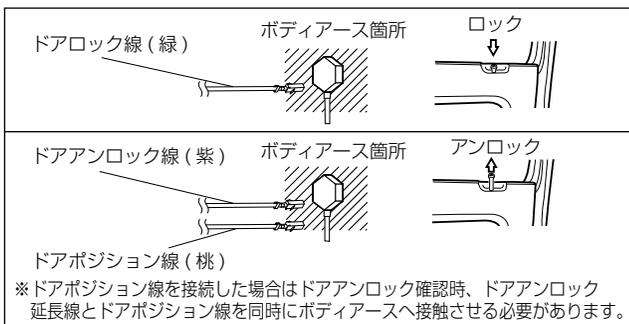
3) ドアロック・ドアアンロック線 (緑・紫) を車両側ドアロック線・ドアアンロック線にそれぞれエレクトロタップで接続します。



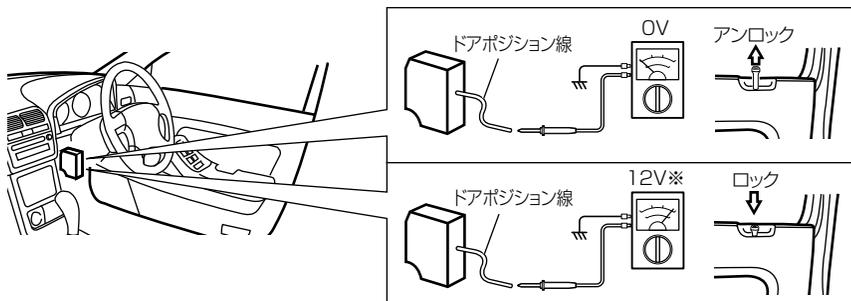
※エレクトロタップ使用法は (⇒ P8)

取付け

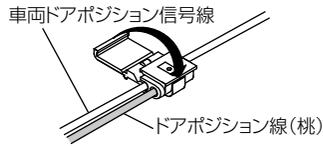
- 4) エレクトロタップで接続後、必ず Be-970 (ワイヤレスドアロック配線キット) の延長線の端子部をボディアースに接触させ、ドアロック、ドアアンロックが作動するか確認します。



- ・ (トヨタ系又はニッサン系の一部車両) ドアアンロックが作動する場合は、6) へ進んでください。
- ・ ドアアンロックが正常に作動しない場合、ドアポジション信号の接続が必要となりますので、5) へ進んでください。
ドアロックノブを操作してロック時に 12V ※、アンロック時に 0V になる線を探します。
※一部の車種で、パルス信号のため、12V 出力しないものがあります。



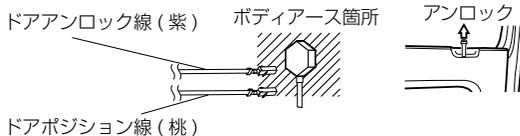
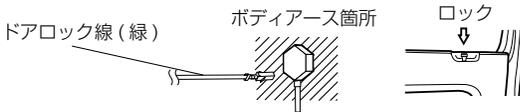
5) 項目4) で探したドアポジション信号線にドアポジション線 (桃) をエレクトロタップで接続します。



※エレクトロタップ使用法は (⇒P8)

注意

エレクトロタップで接続後、12P コネクタに端子を差し込む前に Be-970 (ワイヤレスドアロック配線キット) のドアロック/ドアアンロック延長線の端子部をボディアースへ接触させ、ドアロック/ドアアンロックが正常に作動するか必ず確認してください。



※ドアポジション線を接続した場合はドアアンロック確認時、ドアアンロック延長線とドアポジション線を同時にボディアースへ接触させる必要があります。

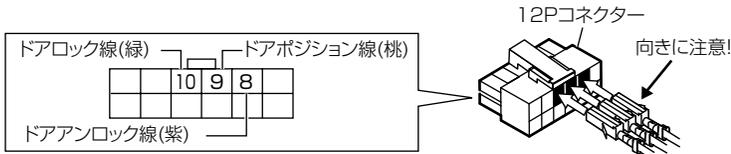
6) 12P コネクタの差し込み番号を確認後、以下のようにしっかり差込んでください。

NO. 8 → ドアアンロック線 (紫)

NO. 9 → ドアポジション線 (桃)

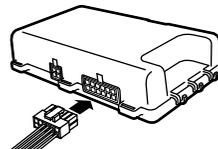
NO. 10 → ドアロック線 (緑)

※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。



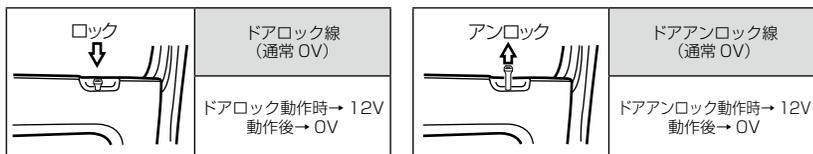
取付け

7) メインユニットに 12P コネクターを差込んでください。

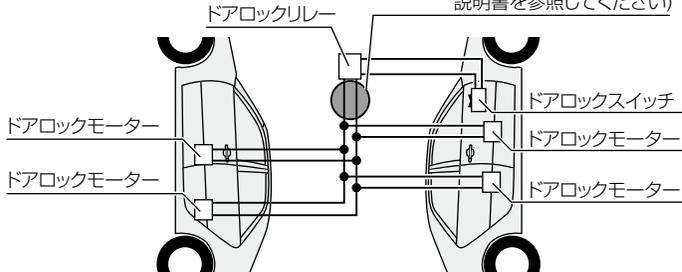


**Bタイプ……オプション Be-965 (ワイヤレスドアロックアダプター) が
必要なタイプ**

1) 接続概要図



接続箇所(詳しくはオプションBe-965取扱
説明書を参照してください)



カーテシ検出による安全機能

オプション Be-970 (ワイヤレスドアロック配線キット) 又は Be-963 (カーテシ線) が必要になります。

⚠ 注意

- 多重通信車はカーテシ検出できません。
- カーテシ配線を行った場合、車両によりルームランプ点灯中はエンジンを始動することができません。ルームランプが消灯してからエンジンを始動してください。

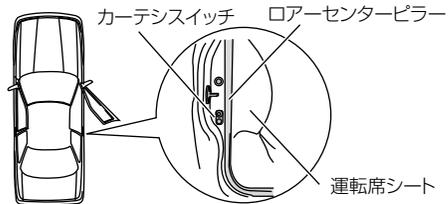
カーテシ検出の設定 (初期設定は 1)

ご使用状況により下記の 3 種類の設定に変更できます。(⇒ P54 ⑧)

- 設定 1 …… リモコンでエンジン始動中にドアを開けると、約 15 秒後にエンジンを停止させる。
- 設定 2 …… リモコンでエンジン始動中にドアを開けると、即エンジンを停止させる。
- 設定 OFF …… リモコンでエンジン始動中にドアを開けても、エンジンは停止しません。

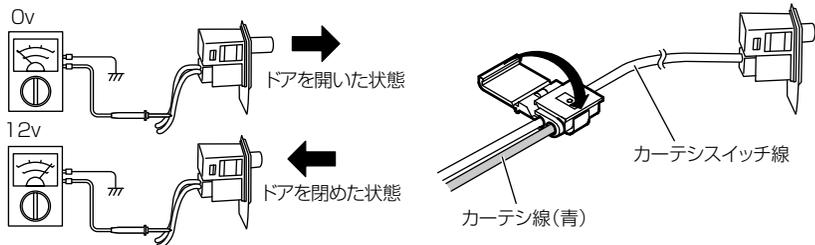
- 注 1. 設定 1、2 の場合ドアを開けた状態でリモコンでスタートをしても、エンジンは始動しません。必ずドアを閉めた状態でリモコンでスタートしてください。
- 注 2. 設定 1 の場合に、リモコンでエンジン始動中、ドアを開けて約 15 秒以内にキーを ON の位置まで回すと、エンジン停止はしません。(カーテシ検出による安全機能を強制解除)

- 1) 運転席側ロアーセンターピラーのカバーをはずします。



取付け

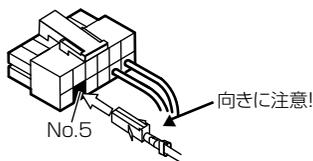
- 2) 車両側カーテシ線をテスター等で探し、カーテシ線 (青) と車両側カーテシ線をエレクトロタップで接続します。



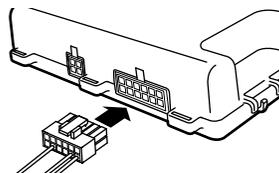
※エレクトロタップ使用法は (⇒ P8)

- 3) 12PコネクターのNo.5にカーテシ線 (青) をしっかり差込んでください。

※一度、差込むと抜けなくなりますのでご注意ください。



- 4) メインユニットに 12P コネクターを差込んでください。

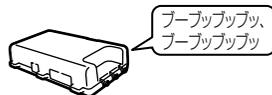


- 5) リモコンでエンジン始動後、アイドリング中にドアを開けてエンジンが停止するか確認してください。

※初期設定ではドアを開けると約 15 秒後にエンジンが停止します。(⇒ P54 ㊸)

(動作不良エラー確認表 (⇒ P39) の No.9 のブザー音「ブーブブブッ、ブーブブブッ」が鳴っているか確認してください。)

※ ドアを開けて、エンジンが停止しない場合は、接続及びカーテシ検出の設定 (⇒ P54 ㊸) を確認してください。(⇒ P54)



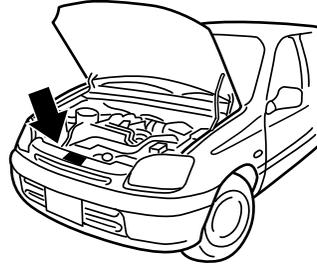
警告ステッカーの貼り付け場所

警告ステッカーについて

本機を取付けた車を第三者が使用又は整備をする場合、安全にお使い頂くため付属の「警告ステッカー」を必ず貼り付けてください。

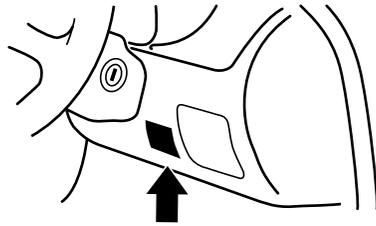
1) 警告ステッカー(大)の貼り付け場所

ボンネット(ワンボックス車の場合エンジンルームカバー)を開けた時、エンジンの熱を直接受けない目立つ場所に貼り付けます。



2) 警告ステッカー(小)の貼り付け場所

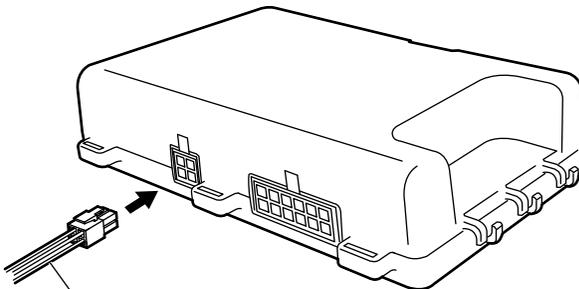
ボンネットオープナー(ワンボックス車の場合エンジンカバーフック)付近に貼り付けます。



イモビ対応アダプターの取付け

本機は一部のイモビライザー装着車に対して、イモビ対応アダプター(オプション)を取付けることでA-124LWのリモコンでエンジン始動させることができます。

※対応車種はハーネス適合表の「イモビ対応アダプター」欄を参照ください。



イモビ対応アダプター(オプション)の4Pコネクター

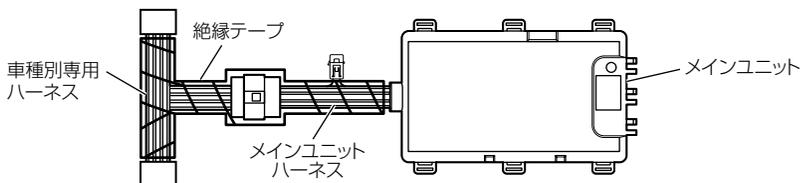
取付け

メインユニットの固定方法

全ての動作が正常と確認できたら、各種ハーネスの絶縁テープを巻いて、ハーネスの保護を必ず行ってください。

メインユニットハーネスと車種別専用ハーネスの配線保護について

- ・メインユニットハーネスと車種別専用ハーネスに必ず市販の絶縁テープを巻いて、保護をしてください。
 - ・各種ハーネスと車両金属部（※）が接触してショートし、メインユニットのヒューズ切れやメインユニットの故障、車両ヒューズ切れなどの本体の動作不良になる恐れがあります。
 - ・また、絶縁テープを巻いたハーネスをダッシュボード内（コラムカバー内等）に収納する際、狭いスペースのため、各種ハーネスと車両金属部がショートしないよう気を付けて収めてください。
- （※）コラムシフトレバー可動部、ステアリング可動部、ペダル、その他鉄板など



⚠ 注意

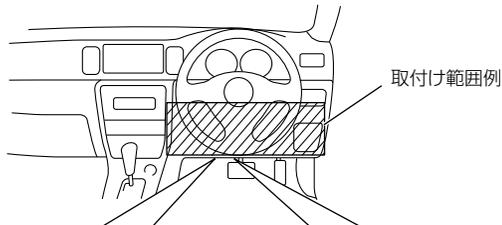
各種ハーネスと車両金属部の接触によるショートが原因の本体動作不良又は車種別専用ハーネスの加工等、車両故障に関しては当社で一切責任を負いません。

メインユニットの取付け

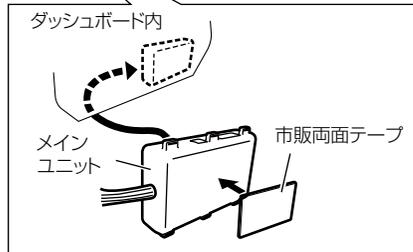
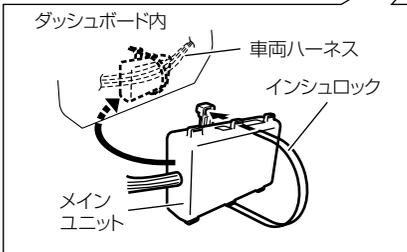
⚠ 注意

- メインユニットの固定・配線を行う前に、初期設定動作確認を行ってください。
(⇒ P15 ~ 18)
- エアコンやヒーター等の熱風又は水滴を受ける場所・直射日光の当たる場所・不安定な場所・運転の妨げになる場所への取付けは避けてください。

運転の妨げにならない場所に、インシュロック又は、市販両面テープでしっかりと固定してください。(ダッシュボード内側等)



取付け例



取付け

動作不良エラー確認表

メインユニットからブザー音を鳴らすことで、製品の作動状態やエラーを確認することができます。

No.	ブザー音	名称	内容/解除方法
1	ブー、ブー ○ ○	フットブレーキ 検出エラー	本機作動中にフットブレーキを踏んだ時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかキーを ON の位置まで回してください。 対策 フットブレーキ検出線の接続を確認してください。(⇒P21)
2	ブーブーブー、 ○○○○ ブーブーブー ○○○○	P.N 検出 エラー	本機作動中にシフトレバーを [P] (パーキング) 又は [N] (ニュートラル) 以外に動かしてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかキーを ON の位置まで回してください。 リモコンでスタート後エンジンがかからない場合 対策 ①フットブレーキ検出線の接続をし、フットブレーキを一度踏んでください。(⇒P21) ②イモビライザー装着車の場合、イモビ対応アダプターの取付け・接続方法の確認をしてください(イモビ対応アダプターの取扱説明書参照) ※上記対策後、再度リモコンでスタートさせるか、キー ON の位置まで回してください。
3	ブッブッブッ、 ○ ○ ○ ブッブッブッ ○ ○ ○	P ポジション 検出エラー	P ポジション配線した場合、本機作動中にシフトレバーを [P] (パーキング) 以外に動かしてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかキーを ON の位置まで回してください。 対策 P ポジション線の接続を確認してください。 (オプション Be-963 取扱説明書参照)
4	ブッブッブッブッ、 ○ ○ ○ ○ ブッブッブッブッ ○ ○ ○ ○	初期設定 車両情報未検出 エラー	取付けを行った後、取扱説明書の初期設定動作確認をもとに確実にキー操作で設定後、エンジン始動させて車両情報の認識を行ってください。(⇒P15～18) 初期設定動作確認を行わないとリモコンでエンジン始動できません。
5	ブッ、ブッ ○ ○	ACC 検出 エラー	本機作動中にキーを ON まで回さずに ACC で止めてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかキーを ON の位置まで回してください。
6	ブーブッ、 ○○ ブーブッ ○○	L 端子配線 違いエラー	L 端子以外の線に間違えて配線したときの状態。解除するには正しく配線後、再度リモコンでスタートさせるかキーを ON の位置まで回してください。 対策 L 端子配線の確認をしてください。(⇒P22～24)

※ ○は約 0.2 秒を示します。○は約 1 秒を示します。○○は約 2 秒を示します。

※ 再度エラーブザー音を確認したい場合は、リモコンのエンジンスイッチを押した後、リモコンの LED ランプ (赤) が点滅している間にストップスイッチ (■) を押してください。

No.	ブザー音	名称	内容／解除方法
7	ブープブップ、 ○ ○ ○ ブープブップ ○ ○ ○	リモコンID 未登録	リモコンでID登録してください。
8	ブップブープー、 ○ ○ ○ ○ ○ ブップブープー ○ ○ ○ ○ ○	エンジン始動 検出エラー	<p>リモコンでエンジンをスタート後、連続して2回セルを回すか、または連続して2回エンジンを始動させた状態（1回でエンジンがかからない状態）。解除するには、キーをON位置まで回してください。</p> <p>対策</p> <ul style="list-style-type: none"> エンジンが始動するまでセルが回らない場合 セルストップ方式がオートの設定の場合はセル延長時間を現状の設定より延長、マニュアルの場合はセルストップ時間を現状の設定より長めに設定してください。(⇒P50～52) イモビライザー装着車の場合 イモビ対応アダプター適合可能な車種の場合、イモビ対応アダプターを取付けてください。(⇒P60) エンジン始動検出が自動検出できない場合 L端子配線の確認をしてください。(⇒P22～24) インテリジェントキー装着車の場合 インテリジェントキー対応ハーネスの適合車種であればインテリジェントキー対応ハーネスを取付けてください。(⇒P60)
9	ブープブップブップ、 ○ ○ ○ ○ ○ ブープブップブップ ○ ○ ○ ○ ○	カーテシ検出 エラー	<p>カーテシ配線した場合、リモコンでエンジン始動中ドアを開いてエンジンが停止したときの状態。解除するには、ドアを閉めて再度リモコンでエンジン始動するか、キーをONの位置まで回してください。</p> <p>対策</p> <p>カーテシ線の接続を確認してください。(⇒P33～34)</p> <p>△ 注意 車両によりルームランプ点灯中はエンジンを始動することができません。ルームランプが消灯してからエンジンを始動してください。</p>
10	ブープブップブップブップ、 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ブープブップブップブップ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	通信エラー	<p>アンテナユニットとメインユニット間の通信に異常がある状態。</p> <p>対策</p> <p>接続ケーブルの接続不良、差込み状態を確認してください。 接続ケーブルの断線の可能性もあります。</p>
11	ブップブープー、ブップブープー ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	バッテリー電圧 低下エンジン 始動エラー	<p>車両バッテリー電圧が低下している可能性があるため、エンジン始動ができない状態。</p> <p>対策</p> <p>バッテリー電圧を確認してください。</p>

※ ○は約0.2秒を示します。○は約1秒を示します。

※ 再度エラーブザー音を確認したい場合は、リモコンのエンジンスイッチを押した後、リモコンのLEDランプ（赤）が点滅している間にストップスイッチ（■）を押してください。

リモコンの使用法

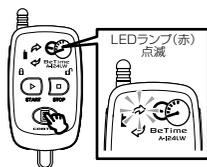
エンジンを始動させる

リモコンで下記の動作を行うとエンジン始動できます。エンジン始動後、設定したアイドリング時間（⇒P49）が過ぎると自動的にエンジンを停止します。

⚠ 注意

- ・リモコン操作する時はアンテナを伸ばしてください。伸ばさないと著しく電波飛距離が短くなります。
- ・電池を交換した時は必ず下記動作を行ってリモコンのLEDランプが点滅・点灯するか確認してください。
- ・リモコンでエンジンを始動する時に、車のオートライト機能を「AUTO」にしている場合、エンジン始動と同時にヘッドライトが点灯したままになることがあります。必ずオートライト機能を「OFF」にしてから、リモコンでエンジン始動を行ってください。
- ・車から発生するノイズの影響でエンジン始動より、エンジン停止させる方が通信距離が短くなる事があります。
- ・同じ周波数帯の電波が周辺に出ている場合は、リモコンの送信音が「ブップブツ」と鳴り送信を行えません。

- 1) エンジンスイッチ (E) を押し、LED ランプ (赤) を点滅させます。



- 2) LED ランプ (赤) が点滅中にスタートスイッチ (▶) を押します。



- 3) アンテナユニットがリモコンからの電波を受信すると、下記のような動作をし、エンジンが始動します。

- ・メインユニットからブザー音が「ピーツ」と1秒間鳴ります。
- ・リモコンのLEDランプ (青) が点灯します。



※アンテナユニットがリモコンからの電波を受信できなかった場合は、リモコンのLEDランプ (青) は点灯しません。(アンサーバック音をメロディ又は、ブザーに選択されている場合はNG音が鳴ります)

- 4) エンジンが始動すると、アンテナユニットがリモコンへエンジン始動の確認電波（アンサーバック信号）を送ります。※ 1

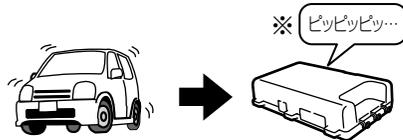
リモコンが電波（アンサーバック信号）を受信すると、リモコンのエンジン始動確認ランプ（橙）と受信ランプ（青）が点灯します。※ 2
エンジン始動しなかった場合はリモコンへのアンサーバック NG 音は鳴りません。

※ 1 リトライでエンジンを始動した時は、リモコンへの電波（アンサーバック信号）は送信されません。

その場合は、「エンジンが始動しているか確認する」をご確認ください。（⇒ P42）

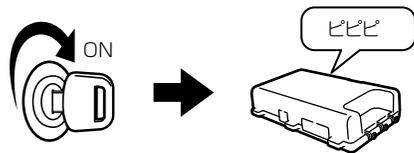
※ 2 一部車両でエンジン始動時の電気ノイズや場所によっては、周囲の電波の影響を受けて、LED ランプ（橙）と（青）が点灯（アンサーバック）しないことがあります。

- 5) エンジン始動後、アイドルを開始すると、メインユニットからブザー音が「ピッピッピッ…」と連続して鳴ります。



※アイドル時間中のブザー音は消音できません。

- 6) リモコン操作でエンジン始動中に、キーを ON まで回すと、メインユニットのブザー音が「ピピピ」と鳴ります。

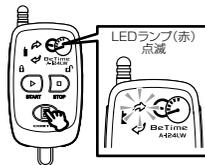


リモコンの使用法

エンジンを停止させる

リモコンでエンジン始動中又は、ターボタイマー作動中に下記の動作を行うとエンジンを停止します。

- 1) エンジンスイッチ (E) を押し LED ランプ (赤) を点滅させます。



- 2) LED ランプ (赤) が点滅中にストップスイッチ (■) を押します。



- 3) アンテナユニットがリモコンからの電波を受信すると、リモコンの LED ランプ (青) が点灯し、エンジンが停止します。

※アンテナユニットがリモコンからの電波を受信できなかった場合は、リモコンのLEDランプ(青)は点灯しません。(アンサーバック音をメロディ又は、ブザーに選択されている場合は、NG音が鳴ります)



エンジンが始動しているか確認する

エンジン始動しているか再度確認する場合、「リモコンでエンジンを始動させる」と同じ要領で、リモコン操作を行います。(⇒P40～41)

- ・エンジンがかかっている場合は、エンジン始動確認ランプ(橙)と、受信ランプ(青)が点灯します。
- ・エンジンがかかっていなければ、再びエンジン始動を行います。

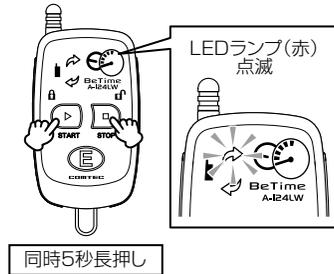
※ リモコンのLEDランプが点灯(アンサーバック)しない場合は、場所によっては周囲の電波の影響を受けて通信距離が極端に短くなっている可能性があります。また、車両電気ノイズの影響でエンジン始動より、エンジン停止させる方が短くなる場合があります。

アンサーバック音の切替えについて

リモコンのアンサーバック音を、メロディ 1/メロディ 2/ブザー/無音の中から選択することができます。(初期設定は、メロディ 1)

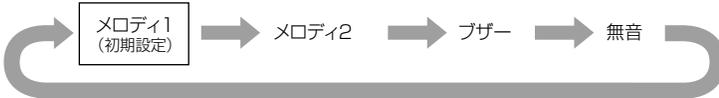
- 1) スタートスイッチ (▶) と、ストップスイッチ (■) を同時に 5 秒長押しします。

LED ランプ (赤) が点灯します。



アドバイス

スタートスイッチ (▶) とストップスイッチ (■) を同時 5 秒長押しする度にメロディ 1 → メロディ 2 → ブザー → 無音の順で切り変わります。



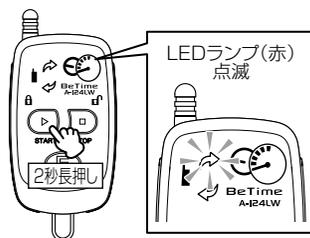
メロディ 1 を選択する場合 ……メロディ音 1 が鳴ったら止めます。
 メロディ 2 を選択する場合 ……メロディ音 2 が鳴ったら止めます。
 ブザーを選択する場合 ……ブザー音 (ピーツ) が鳴ったら止めます。
 無音を選択する場合 ……ブザー音 (ピツ) と鳴ったら止めます。

リモコンの使用法

ワイヤレスドアロック機能の使用法

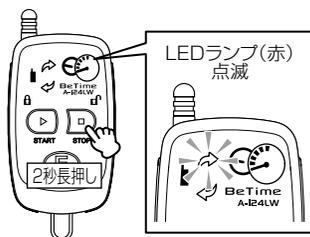
ドアをロックさせる

スタートスイッチ (▶) を 2 秒長押しし、LED ランプ (赤) を点灯させます。



ドアをアンロックさせる

ストップスイッチ (■) を 2 秒長押しし、LED ランプ (赤) を点灯させます。

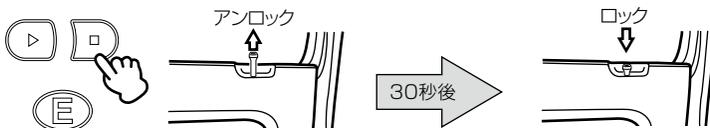


オートロック機能について（初期設定は設定 OFF）

⚠ 注意

設定 1 及び 2 の場合本機リモコンでドアをアンロックした時に、約 30 秒後に自動的にドアをロックします。キーのインロックをしないように、十分に注意してください。

オートロック機能とは、オートロックの設定を「設定 1」又は「設定 2」にした場合、本機のリモコンでドアをアンロックした時に、アンロックして約 30 秒後に自動的にドアをロックする機能です。



2度押し 又は 2秒長押し

オートロック機能には下記の 3 種類の設定（解除）があります。

設定 1…… リモコンでドアをアンロックした後に、約 30 秒以内にキーを ON するか、またはいずれかのドアを開けるとオートロック機能の作動解除ができます。（カーテシ配線が必要です）（⇒ P33 ~ 34）

設定 2…… リモコンでドアをアンロックした後に、約 30 秒以内にキーを ON するとオートロック機能の作動解除ができます。

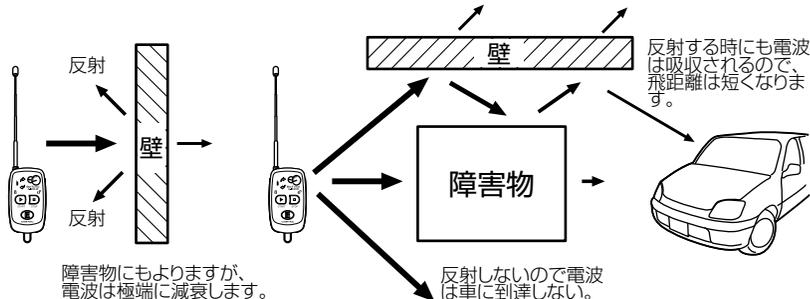
設定 OFF…… オートロック機能は作動しません。（初期設定）

設定方法の詳細は（⇒ P53 ⑦）

リモコンの使用法

電波特性（電波飛距離について）

- 鉄筋コンクリートの壁や、トタン等電気を通す障害物が車とリモコンの間にあると、極端に到達距離が短くなります。（電波が障害物によって反射する）
- 電波は直進しかしません。ただし反射しながら飛ぶ場合があります。車が直接見えていなくてもまわりに反射できそうな壁・建物等があれば届くことがあります。逆に、車との間に障害物があった場合まわりに反射できる壁・建物等がなければ届きません。



- リモコンを操作する時は、電波送受信の安定性を確保するために、下記のように操作してください。



- アンテナを伸ばさずに操作すると電波の受信距離が短くなります。



- ケースやアンテナを、手で包み込まないよう操作してください。



- リモコンは垂直に立てて操作してください。

- アンテナユニットのロッドアンテナを全て伸ばして取付けを行わないと電波飛距離が短くなります。

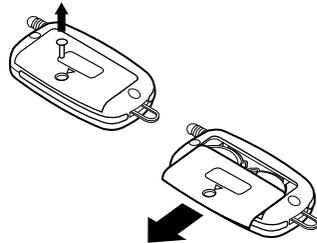


電池交換のしかた

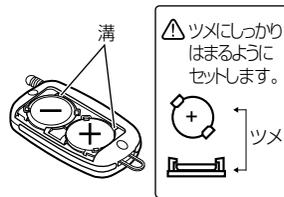
電池は、下図の手順にしたがって、+/-の向きを間違えないように交換してください。

※電池カバーを取付けていないとリモコンの電源は入りません。ご注意ください。

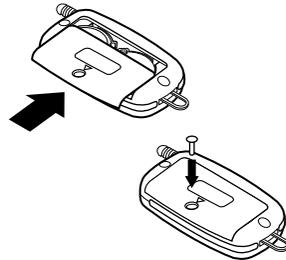
- 1) 電池カバーのネジを外して、電池カバーを矢印の方向へスライドさせ取外します。



- 2) 下図の溝に細い棒等を入れ、古い電池を取出し、新しい電池 (CR2025 × 2 個) をリモコンのアンテナ側は-を上、キーリング側は+を上にしてセットします。



- 3) 電池カバーを矢印の方向からスライドさせ取付け、ネジを締めます。



△ 注意

- 指定電池 (CR2025) 以外は使用しないでください。
- 電池寿命の目安は、新品の電池で 1 日 2 回の操作で約半年です。※使用する条件によって異なります。
- 工場出荷時はテスト用の電池をセットしていますので電池自体が自然放電して電池寿命が約半年間を下回る場合があります。

機能設定

Pポジション検出線接続について

- 一部車両で本製品をつけることによりエンジン停止する時に、シフトレバーが **P** (パーキング)、**N** (ニュートラル) 位置以外でキーが OFF まで回りキーが抜けてしまう場合は Be-963(カーテシ線・Pポジション兼用) が必要になる場合があります。
- ターボタイマー使用時に車両が動きだしてしまう可能性があります。その場合 Be-973 (シフト検出アダプター) が必要になる場合があります。
- エンジンを止める時には必ずシフトレバーが **P** (パーキング) の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。
 - P ポジション検出線を接続後必ず初期設定動作確認が必要です。
(初期設定動作確認後 P ポジション線の接続が有効になります。)
(⇒ P15 ~ 18)
 - ターボタイマー作動中シフトレバーがパーキング **P** 又は **N** 位置以外でキーを OFF にしてキーが抜けないことを確認してください。
 - 2) でキーが抜ける場合は再度 1) から取付けを確認してください。

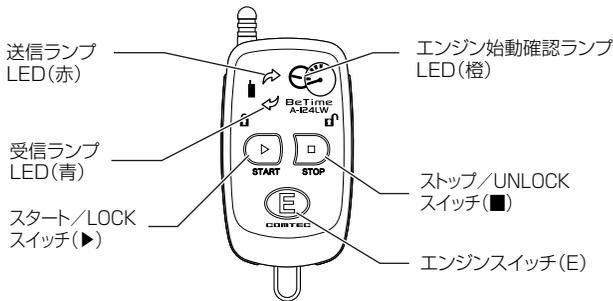
リモコンスイッチでの各種設定内容の変更方法について

リモコンスイッチで下記の設定をすることができます。

- ① アイドリング時間
- ② ターボタイマー
- ③ セルストップ方式
- ④ セル延長時間 (セルストップ方式をオート設定時のみ有効)
- ⑤ セルストップ時間 (セルストップ方式をマニュアル設定時のみ有効)
- ⑥ グロー時間
- ⑦ オートロック
- ⑧ カーテシ検出
- ⑨ WARNING ランプ
- ⑩ WARNING ランプ色選択 (8 パターン)
- ⑪ 通信周波数切替
- ⑫ ディスプレイモード

⚠ 注意

- 設定モード 20 秒間リモコンスイッチの設定操作を行わないと、タイムアウトになり、リモコンからブザー音が「ブー」と鳴って設定モードが終了します。なお、この時に変更した設定内容は全て無効になります。
- 設定を変更し、設定登録の操作を行わないと、変更された設定内容は全て無効になります。

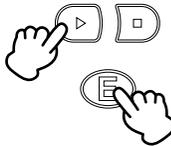


※リモコンを操作する時は、アンテナを伸ばしてください。

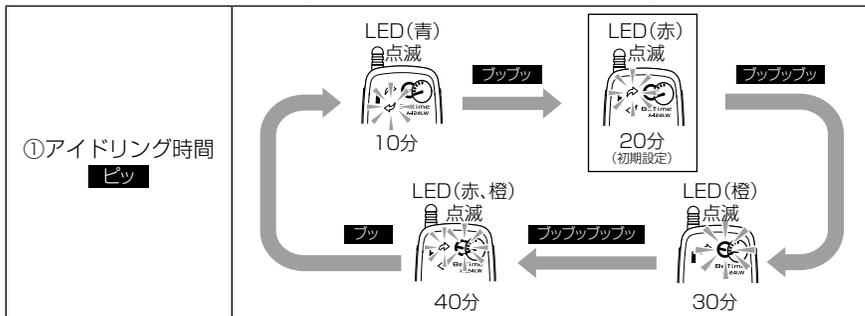
設定開始

エンジンを停止し、キーを抜いた状態でリモコンのエンジンスイッチ (E) とスタートスイッチ (▶) を5秒間同時に長押しすると、リモコンからブザー音が「ピッ」と鳴り、設定モードに入ります。

同時5秒長押し



	スタートスイッチ (▶) 1 回押し
	ストップスイッチ (■) 1 回押し



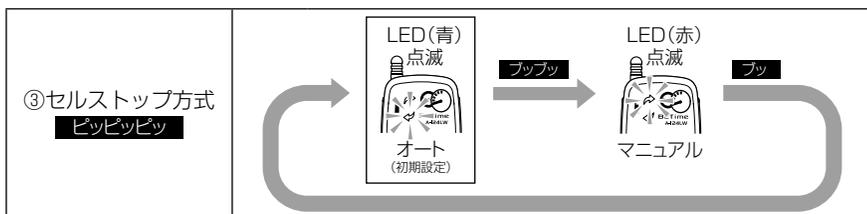
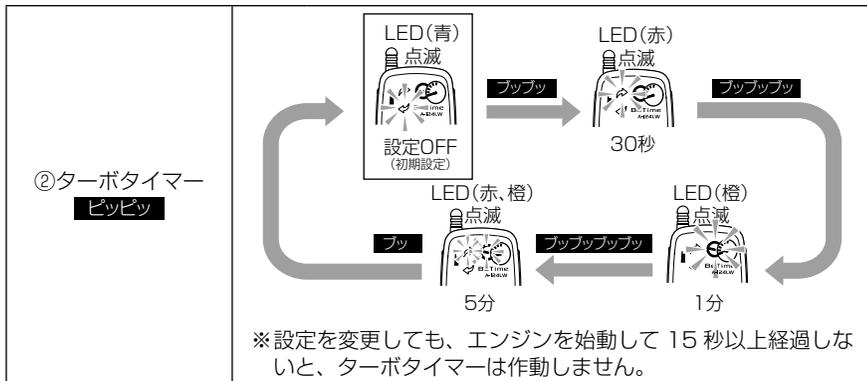
次ページへ

機能設定

前ページのつづき



	スタートスイッチ (▶) 1 回押し
	ストップスイッチ (■) 1 回押し



次ページへ

前ページのつづき



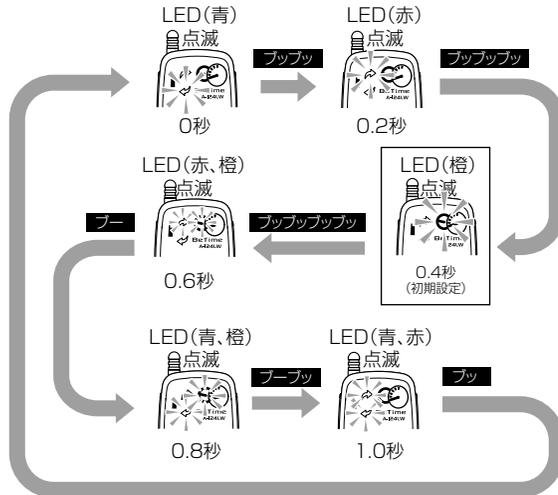
スタートスイッチ (▶) 1 回押し



ストップスイッチ (■) 1 回押し

④セル延長時間
(オートのみ有効)
ビッビッビッビッ

車両の状態にあったセル時間に設定します。



※間違った設定すると、セルモーターの故障につながる恐れがあります。「セル時間の設定について」を参照して、設定してください。(⇒ P58)



次ページへ

機能設定

前ページのつづき



↓	スタートスイッチ (▶) 1 回押し
→	ストップスイッチ (■) 1 回押し

セルモーターのひきずりがある場合や、エンジンが始動しにくい場合に設定を変更します。

⑥セルストップ時間
(マニュアルのみ有効)
ピー

※間違った設定すると、セルモーターの故障につながる恐れがあります。「セル時間の設定について」を参照して、設定してください。(⇒ P58)



次ページへ

前ページのつづき

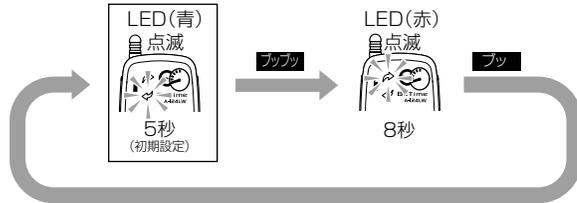


	スタートスイッチ (▶) 1 回押し
	ストップスイッチ (■) 1 回押し

⑥グロー時間※

ピーピッ

IG を ON からセルをスタートさせるまでの時間（グロー時間）を設定します。

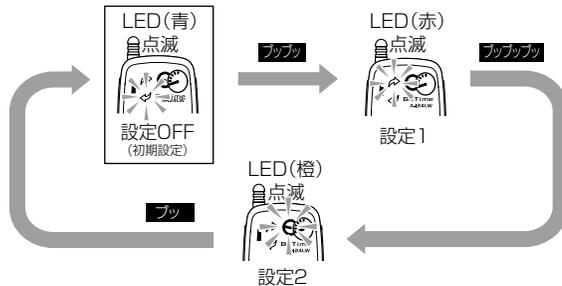


※ ガソリン車は 5 秒に設定します。ディーゼル車の一部車両は 8 秒に設定します。
リモコンでエンジン始動して、問題がない場合は、設定の変更は不要です。



⑦オートロック

ピーピッピッ



設定 1…リモコンでドアアンロック後、約 30 秒以内にキーを ON にするか、ドアを開けると、オートロックが解除します。（カーテシ配線が必要です。）

設定 2…リモコンでドアアンロック後、約 30 秒以内にキーを ON にすると、オートロックが解除します。（ドアを開けても、オートロックは解除できません）



次ページへ

機能設定

前ページのつづき	↓	スタートスイッチ (▶) 1 回押し
	↓	→
		ストップスイッチ (■) 1 回押し

⑧カーテシ検出
ピーピーピーピー

設定 1…リモコンでエンジン始動中、ドアを開けると約 15 秒後にエンジンを停止します。
設定 2…リモコンでエンジン始動中、ドアを開けると即、エンジンを停止します。
※カーテシ配線を行った場合、車両によりルームランプ点灯中はエンジンを始動することができません。ルームランプが消灯してからエンジンを始動してください。

⑨ WARNING ランプ
ピーピーピーピー

設定 1…リモコンのスタートスイッチ (▶) 2 度押し (セキュリティ威嚇 LED スタート) すると WARNING ランプが点滅、リモコンのストップスイッチ (■) 2 度押し (セキュリティ威嚇 LED ストップ) すると消灯します。(セキュリティモード連動)
設定 2…キーを OFF すると WARNING ランプを点滅、キーを ON すると WARNING ランプを消灯します。(キー連動)

次ページへ

前ページのつづき

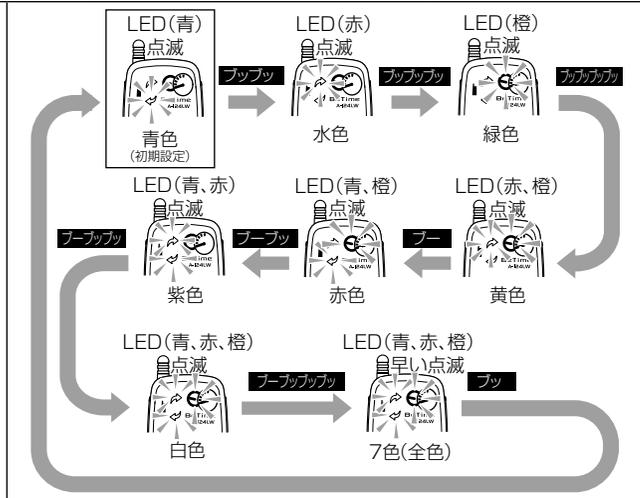


スタートスイッチ (▶) 1 回押し



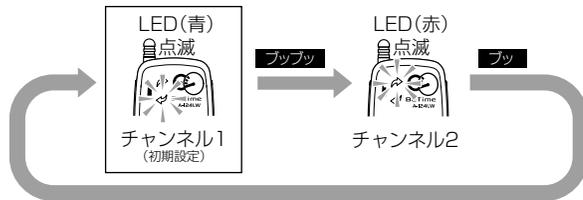
ストップスイッチ (■) 1 回押し

⑩ WARNING ランプ
色選択
ピーピー



⑪ 通信周波数切替※
ピーピーピー

混信・妨害電波・同周波数帯の電波状況などにより、通信が安定しない場合に設定します。



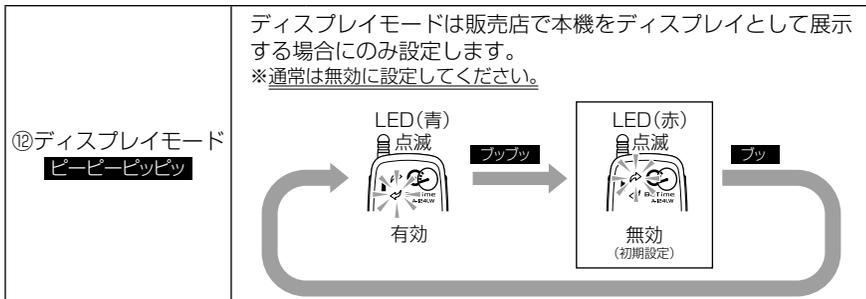
※リモコンでエンジン始動して通信に問題がない場合は、設定の変更は不要です。



次ページへ

機能設定

前ページのつづき	↓	スタートスイッチ (▶) 1 回押し
	↓	ストップスイッチ (■) 1 回押し

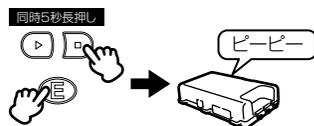


備考：■■■■ はリモコンからのブザー音を示します。

設定登録

リモコンのエンジンスイッチ (E) とストップスイッチ (■) を5 秒間同時に長押しすると、メインユニットからブザー音が「ピーピー」と鳴り、設定が登録されます。

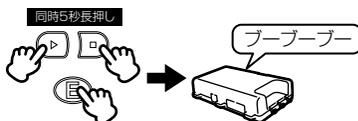
※ 設定の最後に必ず設定登録を行わないと設定されません。



オールリセット (初期設定) にする

設定モード状態 (⇒P49) でリモコンのエンジンスイッチ (E) とスタートスイッチ (▶) とストップスイッチ (■) を5 秒間同時に長押しすると、メインユニットからブザー音が「ブーブーブー」と鳴り、全ての機能が初期設定になります。

※ エンジンスイッチ (E) とストップスイッチ (■) で設定登録作業をする必要はありません。



ターボタイマーについて（初期設定は設定 OFF）

エンジンを始動してから 15 秒以上経過し、キーを OFF にした場合にターボタイマーが作動します。

ターボタイマー時間（アフターアイドルリング時間）の設定を下表の 4 段階に変更できます。

設定方法の詳細は（⇒ P50 ②）

ターボタイマー時間
約 0 秒
約 30 秒
約 1 分
約 5 分

※初期設定は設定 OFF

⚠ 注意

- 一部の車両で本製品をつけると、ターボタイマー使用時にシフトレバーが **P**（パーキング）、**N**（ニュートラル）位置以外でキーが OFF まで回りキーが抜けてしまい、車両が動きだしてしまう可能性があります。その場合、オプションの Be-963（カーテシ線・P ポジション線兼用）又は Be-973（シフト検出アダプター）等が必要になる場合があります。また、エンジンを止める時は必ずシフトレバーが **P**（パーキング）の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。
- ターボタイマー作動時に、車のオートライト機能を「AUTO」にしている場合、ターボタイマー作動中はヘッドライトが点灯したままになることがあります。必ずオートライト機能を「OFF」にしてから、ターボタイマーを作動させてください。

ターボタイマーを停止するには？

ターボタイマー作動中に下記のいずれかの動作を行うとエンジンが停止します。

- フットブレーキ配線を行っている場合、フットブレーキを踏みます。
（⇒ P21）
- リモコンのエンジンスイッチ（E）を押して LED ランプ（赤）が点滅中にストップスイッチ（■）を押します。
- キーを ACC の位置で約 3 秒以上待ちます。

機能設定

セル時間（セルストップ方式、セル延長時間、セルストップ時間）の設定について

セルストップ方式の設定をオート又はマニュアルにし、オートはセル延長時間、マニュアルはセルストップ時間を設定することで、エンジンの始動しやすい車両状態に設定できます。

設定方法の詳細は（⇒ P50 ～ 52）

アドバイス

こんなときは

- ・ エンジンスタートするがセルをひきずる場合
セルストップ方式がオートの場合は延長時間を現状の設定より短めに設定し、それでもひきずる場合はセルストップ方式をマニュアルに設定して、セルストップ時間を現状の設定より短めに設定してください。
- ・ セルしか回らずエンジンがかからない場合
セルストップ方式がオートの場合は延長時間を現状の設定より長めに設定し、それでもセルが短い場合はセルストップ方式をマニュアルに設定して、セルストップ時間を現状の設定より長めに設定してください。

セキュリティ威嚇 7色LEDとは

アンテナユニット内蔵 WARNING ランプ (7色) が点滅することにより不審者に対し心理的威圧感を与えるフラッシュ威嚇機能を採用しています。WARNING ランプは7色、8タイプから選択可能です。

初期設定は青色に設定されています。(⇒ P55 ⑩)



WARNING ランプ色選択
青色 (初期設定)
水色
緑色
黄色
赤色
紫色
白色
7色 (全色)

セキュリティ威嚇 7色LEDの設定

アンテナユニット WARNING ランプの設定により、下記の2種類の設定に変更できます。(⇒ P54 ⑨)

初期設定は「設定2」に設定されています。

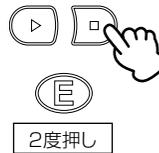
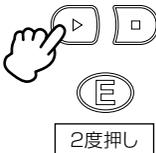
・設定1 (リモコン操作)

リモコンのスタートスイッチ (▶) 2度押し (セキュリティ威嚇 LED スタート) すると WARNING ランプが点滅、リモコンのストップスイッチ (■) 2度押し (セキュリティ威嚇 LED ストップ) すると消灯します。(セキュリティモード連動)

※ キーを ON にした場合も消灯します。

(セキュリティ威嚇 LED スタート)

(セキュリティ威嚇 LED ストップ)



・設定2 (キー連動) 初期設定

キーを OFF (セキュリティ威嚇 LED スタート) にすると WARNING ランプが点滅、キーを ON (セキュリティ威嚇 LED ストップ) にすると消灯します。

※ 設定2の場合は、リモコン操作では WARNING ランプを点滅及び消灯ができません。

(セキュリティ威嚇 LED スタート)

(セキュリティ威嚇 LED ストップ)



付録

オプションについて

本機は以下のオプションを取付け可能です。

品番	品名	使用目的
Be-963	カーテシ線	リモコンでエンジン始動時に車両のドアを開けるとエンジンを強制的に停止します。
	Pポジション線	オートロック解除やターボタイマー中にシフトがパーキングの位置にない場合にエンジンを強制的に止めます。 ※一部車両で取付けのできない場合があります。
Be-965	BeTime/ 当社別売セキュリティシステム ワイヤレスドアロックアダプター	ドアロック配線の出力信号を 12V 出力方式に反転させます。 ※対応車種はハーネス適合表の「ワイヤレスドアロック機能配線方式」欄を参照してください。
Be-966	L端子検出アダプター	L端子信号の電圧が低くL端子検出ができない車両に取付け、L端子信号の検出を可能にします。
Be-968	アンサーフラッシュリレー	BeTimeのリモコンによるロック・アンロック/セキュリティスタート・ストップ時に、車両のハザードなどを点滅させます。 ※商品により点滅動作できる機能は異なります。
Be-969	セルカット イモビライザーユニット	BeTimeのリモコン操作で車両のセル始動を制御します。
Be-970	ワイヤレスドアロック 配線キット	ワイヤレスドアロック機能の追加可能な商品でワイヤレスドアロック機能を追加する際に、必要になります。
Be-973	シフト検出アダプター	一部ホンダ車でターボタイマー使用時 P (パーキング) 以外で鍵が抜けるのを防止します。
Be-974	多重通信ドアロック アダプター	ドアロック信号が多重通信で行われている車両に取付けることにより、本機でのドアロックが可能になります。
Be-975	オートスライド ドアユニット	エンジンスターターのリモコンでの、オートスライドドア(電動式)の開閉が可能となります。(片側のみ)
Be-976	セキュリティアラーム 対応アダプター	エンジンスターターのリモコンでエンジンを始動した時に純正セキュリティが作動(警報)することを防止します。
Be-IL01T, Be-IL02T, Be-IL03T, Be-ILW05T, Be-IL31H, Be-IL32H, Be-IL33H, Be-IL501, Be-IL502, Be-IL503, Be-IL504, Be-IL505, Be-IL506	イモビ対応アダプター	イモビライザー装備車に取付けることにより BeTime の使用(エンジン始動)が可能になります。 ※対応車種はハーネス適合表の「イモビ対応アダプター」欄を参照してください。
Be-IL21N, Be-IL22N, Be-IL23N	インテリジェントキー 対応ハーネス	インテリジェントキー装備車に取付けることにより BeTime の使用(エンジン始動)が可能になります。 ※対応車種はハーネス適合表の「インテリジェントキー対応アダプター」欄を参照してください。

運転するには

本機でエンジンを始動した状態だけでは走行できません。

運転する時は、必ずキーを ON の位置まで回してから走行してください。

※ フットブレーキ配線時は、ブレーキを踏まずに操作してください。

※ 車種によってはフットブレーキにてエンジンを停止してからキーノブを ON の位置まで回し、エンジンを再始動してください。



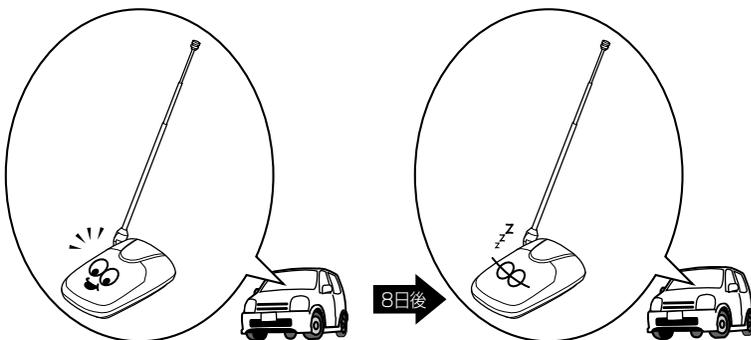
⚠ 注意

- リモコンでエンジン始動中、キーを START の位置まで回すと、セルモーターが故障するおそれがあるため、必ず ON の位置でキーを止めてください。
- リモコンでエンジン始動中、キーを ON の位置まで回さずに ACC の位置で止めると、安全機能が働き、約 3 秒後にエンジンが自動停止します。

付録

スリープ機能について

- ・車を使用しない状態が8日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。
- ・スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動はできません。スリープ機能を解除する時は、1度キーでエンジンを始動させてください。



- ・本機を長期間使用しない時は、リモコンの電池を抜くことをおすすめします。

バッテリーについて

車のバッテリーの性能が低下している時は、キーで始動する場合に比べ、リモコンでのエンジン始動ができにくくなります。このような時はバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

👉 アドバイス

- ・寒冷地ではL端子配線を接続し、バッテリーも大型のものに交換することをおすすめします。
- ・車のバッテリー交換を行った場合は再度初期設定動作確認(⇒P15～18)を必ず行ってください。
- ・車のバッテリー性能・電圧が低下している時は、キーではエンジンが始動できるがリモコンでのエンジン始動ができない場合がございます。気候やバッテリー状態によって異なりますので十分にご注意ください。本体の不良ではございません。

ID コードの再登録

ID コードの再登録方法

以下の場合に ID コードを再登録してください。

- ・ リモコンを紛失または破損した場合
メインユニットを交換することなく、新しいリモコン（別売）を購入していただき、「ID コード」をメインユニットに再登録することで引き続きご使用いただけます。
 - ・ お客様の車のバッテリーの交換や本機の付け替えなどで、バッテリーや車種別専用ハーネスを取りはずした時に、リモコンでエンジン始動ができなくなった場合
- ※ 機能設定⑩の通信周波数切替を行いチャンネル2へ変更している場合、ID コードの再登録が行えません。リモコンの通信周波数をチャンネル2へ変更し ID コードの再登録を行ってください。（⇒P67～71）

- 1) キーを OFF の位置から ON の位置まで回してとめてください。
10 秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



- 2) 1) のブザーが鳴ってから 5 秒以内に、キーを OFF の位置へ回してください。

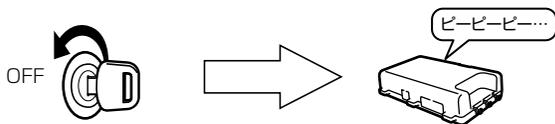


- 3) キーを OFF の位置へ回してから 5 秒以内に、再度 ON の位置まで回してとめてください。10 秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。

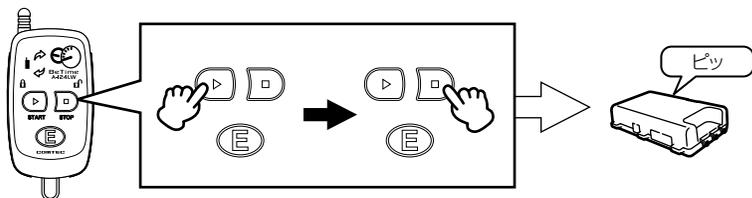


付録

- 4) 3) のブザーが鳴ってから 5秒以内 にキーを再度 OFF の位置へ回してください。メインユニットからブザー音が「ピーピーピー…」と 10秒 間鳴ります。



- 5) 4) のブザーが 10秒間 鳴っている間に、リモコンのスタートスイッチ (▶) を押して、リモコンのLEDランプ (赤) が点滅している間に、ストップスイッチ (■) を押してください。メインユニットからブザー音が「ピッ」と鳴り、再登録は完了します。



※ 指定した時間を経過した場合、または順番を間違えた場合はキーでエンジン始動後、初めからやり直してください。

👉 アドバイス

ID コードとは

- ・リモコンにはそれぞれ重複しないように「ID コード」が設定されておりメインユニットの「ID コード」と一致しなければ、エンジンを始動させる事ができないようになっています。
- ・必ずリモコン・アンテナユニット・メインユニットが全て同一モデルになっていないと ID コードの登録はできません。

ID コードの追加登録

A-124LW リモコンの追加

付属のリモコン以外に、もう 1 つ A-124LW のリモコンを追加して使用することができます。(付属のリモコンを含め合計 2 個まで)

当社別売セキュリティシステム (SS-150、S S -350、X 2000、X 7000 等) のリモコンを追加登録して使用することはできません。

※ 機能設定①の通信周波数切替を行いチャンネル 2 へ変更して使用している場合、ID コードの追加登録が行えません。リモコンの通信周波数をチャンネル 2 へ変更し ID コードの追加登録を行ってください。(⇒ P70 ~ 71)

ID コードの追加登録方法

- 1) キーを OFF の位置から ON の位置まで回してとめてください。10 秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



- 2) 1) のブザーが鳴ってから 5 秒以内に、キーを OFF の位置へ回してください。

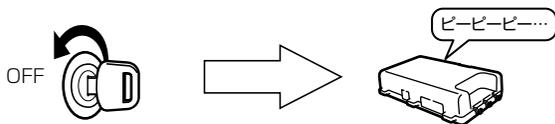


- 3) キーを OFF の位置へ回してから 5 秒以内に、再度 ON の位置まで回してとめてください。10 秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。

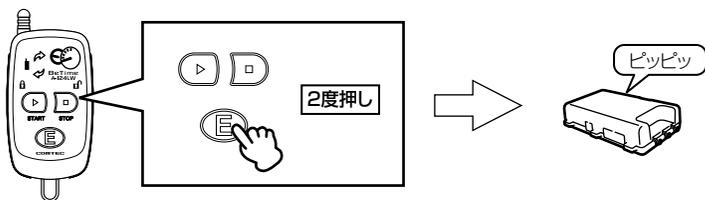


付録

- 4) 3) のブザーが鳴ってから 5秒以内 にキーを再度 OFF の位置へ回してください。メインユニットからブザー音が「ピーピーピー…」と 10秒 間鳴ります。



- 5) 4) のブザーが 10秒間 鳴っている間に、リモコンのエンジンスイッチ (E) を押して、リモコンの LED ランプ (赤) が点滅している間に、もう一度エンジンスイッチ (E) を押してください。メインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴り、追加登録は完了します。



※ 指定した時間を経過した場合、または順番を間違えた場合はキーでエンジン始動後、初めからやり直してください。

通信周波数切替方法について

- 本機取付け及び使用時、通信ができなかったり、アンサーバックがリモコンへ戻って来なくなる場合。
- 混信・妨害電波・同周波数帯の電波状況等により、通信が安定しない場合は下記操作を行ない、通信周波数チャンネルを任意で切替えることによって本機をより安定した電波環境で使用できます。

⚠ 注意

- アンテナユニットとの通信ができない場所では本設定は行えません。
- 通常は通信周波数を変更する必要はありません。

機能設定 (⇒ P49 ~ 56) 参照により設定変更を行います。

通信周波数を変更する

通信周波数をチャンネル 1 からチャンネル 2 へ変更する手順を説明します。
(チャンネル 2 からチャンネル 1 の変更も同様)

- 1) エンジン进行停止し、キーを抜いた状態でリモコンのエンジンスイッチ (E) とスタートスイッチ (▶) を 5 秒間同時に長押しすると、リモコンからブザー音が「ピッ」と鳴り、設定モードに入ります。

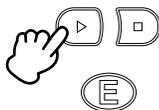


	スタートスイッチ (▶) 1 回押し
	ストップスイッチ (■) 1 回押し

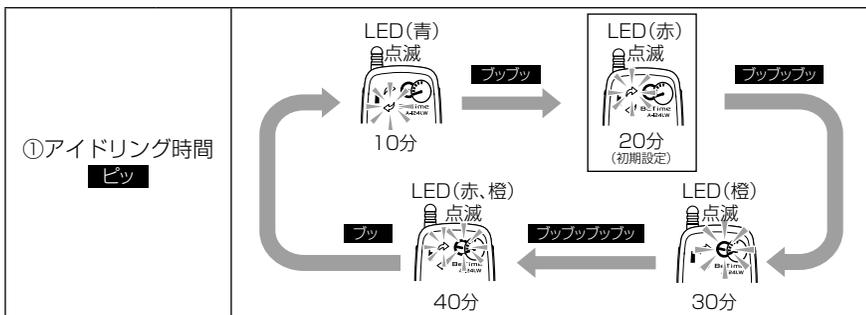
⚠ 注意

- 設定モード 20 秒間リモコンスイッチの設定操作を行わないと、タイムアウトになり、リモコンからブザー音が「ブー」と鳴って設定モードが終了します。なお、この時に変更した設定内容は全て無効になります。
- 設定を変更し、設定登録の操作を行わないと、変更された設定内容は全て無効になります。

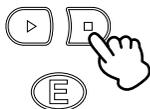
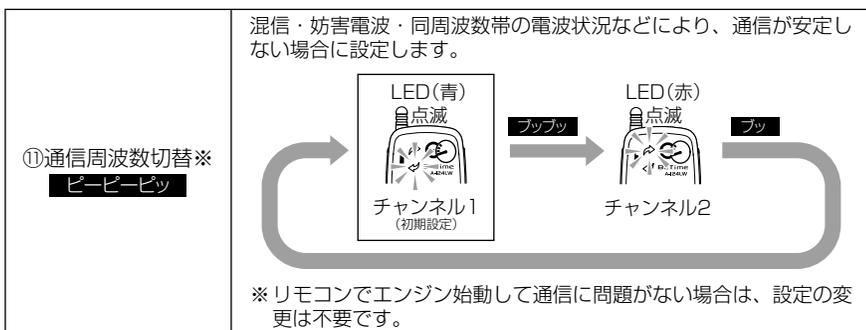
付録



機能設定①から設定に入りますのでスタートスイッチ（▶）で設定①通信周波数切替まで移動します。

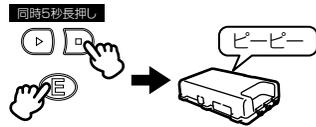


● 機能設定②～⑩省略



設定①①通信周波数切替にてストップスイッチ（■）1度押すことでチャンネル2へ切替えます。

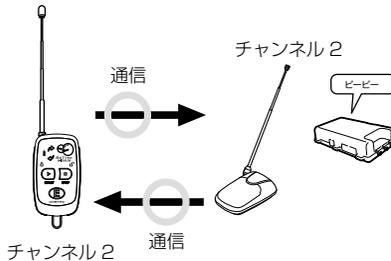
2) リモコンのエンジンスイッチ (E) とストップスイッチ (■) を 5 秒間同時に長押しすると、メインユニットからブザー音が「ピーピー」と鳴り、設定が登録されます。



※ 設定の最後に必ず設定登録を行わないと設定されません。

※ この時、リモコンとメインユニットが通信できない場合は (⇒ P71) へ

この後、リモコンへアンサーバックの音が返ってきます。



アンサーバック OK 音が鳴りアンテナユニットとリモコンの両方が通信周波数が変更されました。

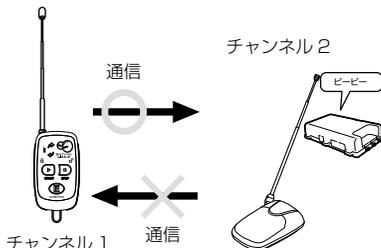
以上で設定終了です。

※ この時リモコンへのアンサーバックが NG の場合は (⇒ P70) へ

付録

アンサーバックが NG の場合

リモコンへのアンサーバックが NG 音となり、アンテナユニット側のみチャンネル2へ変更され、リモコン側はチャンネル1のまま変更されていないときは、リモコン単体のみ周波数切替を行います。

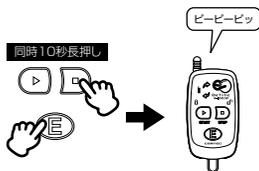


※ 通信周波数切替方法の設定で設定登録後リモコンへのアンサーバックが NG になってしまった場合にリモコン単体のみ周波数切替を行います。

⚠ 注意

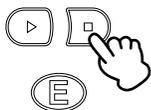
- ・アンテナ側がチャンネル2、リモコン側がチャンネル1と相違しているためリモコンとアンテナとの通信が一切の操作が行えません。
- ・必ずリモコンとアンテナユニットのチャンネルを合わせてください。

1) リモコンのエンジンスイッチ (E) とストップスイッチ (■) を 10 秒間同時に長押しすると、リモコンからブザー音が「ピーピーピッ」と鳴り、設定モードに入ります。



※ この場合のみ、機能設定の①通信周波数切替へ直接設定が移行します。

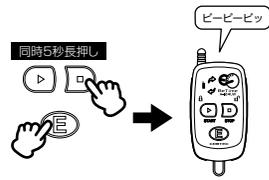
①通信周波数切替※ ピーピーピッ	混信・妨害電波・同周波数帯の電波状況などにより、通信が安定しない場合に設定します。
	※ リモコンでエンジン始動して通信に問題がない場合は、設定の変更は不要です。



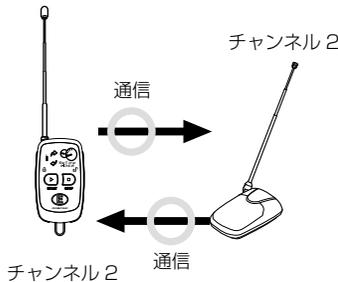
設定①通信周波数切替にてストップスイッチ (■) 1度押すことでチャンネル2へ切替えます。

2) リモコンのエンジンスイッチ (E) とストップスイッチ (■) を 5 秒間同時に長押しすると、リモコンからブザー音が「ピーピーピッ」と鳴り、設定が登録されます。

※ 設定の最後に必ず設定登録を行わないと設定されません。



リモコンのチャンネルが 2 へ変更にされました。

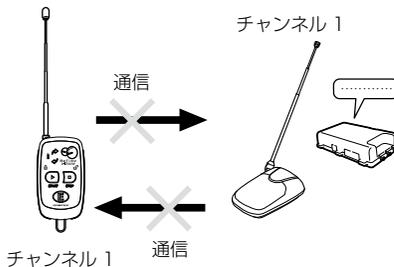


リモコンとアンテナユニットとの通信が可能になればリモコン・アンテナ共に同一のチャンネルになりました。

以上で設定終了です。

リモコンとメインユニットが通信できない場合

- ・リモコンとアンテナユニットの間で通信ができず、メインユニットから「ピーピー」と鳴らないときは、混信・妨害電波・同周波数帯の電波状況等によりリモコンとアンテナユニット間の通信が行えない状況ですので車両を移動する等、通信が行える場所へ移動し再度設定を行ってください。(⇒ P67)
- ・リモコンのみチャンネルが変わっていることが考えられます。リモコン単体の通信周波数切替方法によりリモコンとアンテナユニットのチャンネルを同一にする必要があります。(⇒ P67)



付録

故障かな？と思ったら

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源が入らない。	・車種別専用ハーネスは車に適合していますか？	・適合した専用ハーネスをご使用ください。	—
	・車種別専用ハーネスは確実に接続されていますか？	・確実に接続してください。	P9～14
	・アースはとれていますか？	・アースをボディアースへ確実にとってください。	P12
	・リモコンの電池が消耗していませんか？（電池電圧容量が低下）	・新しい電池と交換してください。	P47
	・リモコンの電源が入らない	・電池カバーをしっかりとめて電池の導通をさせてください。	P47
	・メインユニットのヒューズ（30A）が切れていませんか？	・専用ハーネス等配線のショートが考えられます。配線を再確認後、市販のヒューズ（30A）の交換をしてください。	—
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源は入る。	・車種別専用ハーネスは車両に適合していますか？	・適合した専用ハーネスをご使用ください。	P10
	・車種別専用ハーネスは確実に接続されていますか？	・確実に接続してください。	P10 / P13
	・本体からアンテナが抜けていませんか？	・アンテナを本体に接続してください。	P11
	・バッテリー交換後、初期設定動作確認を行いましたか？	・車両情報未検出エラーの可能性あります。初期設定動作確認（⇒P15～18）を行ってください。	P15～18
	・初期設定動作確認手順は終了していますか？ （⇒P15～18）	・メインユニットのIDコードが消失している可能性があるため、IDコードを再登録（⇒P63～64）し、初期設定動作確認を行ってください。必ず初期設定を行わないと本機は動作しません。	P15～18
	・初期設定動作確認（⇒P15～18）は全て終了し、ブザー音の確認できましたか？		
	・何らかの動作不良エラーのブザー音が鳴りますか？	・動作不良エラー確認表（⇒P38～39）を参照し、初期設定動作確認を行ってください。	P38～39
	・イモビライザー装着車ですか？	・イモビ対応アダプター適合可能な場合は、イモビ対応アダプターを取付けてください。	P60
	・リモコン及びアンテナユニットの通信周波数のチャンネルが切り替わっていませんか？	・通信周波数切替方法（⇒P67～71）にて再度チャンネルを確認してください。	—
	・アンテナユニットのLEDが緑色に点灯していませんか？	・アンテナユニット・メインユニットそれぞれのアンテナコードの端子を差しなおしIDコードの再登録（⇒P63～64）を行ってください。	—

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
リモコンでエンジン始動するが、設定時間よりも先にエンジンが停止してしまう。	・アイドリング時間の設定は確定ですか？	・「アイドリング設定」を参照し確認してください。	P49
	・アースは確実に接続されていますか？	・アース線が確実にアースポイントに、接続されているかを確認してください。	P12
	・リモコンでエンジン始動中、キーを入れて、ACCの位置で止めていませんか？	・正常です。 ACC 検出機能が動いて、エンジンを停止します。	—
ターボタイマーが作動しない。 (ACC 電源も切れる)	・ターボタイマー機能が設定されていますか？ (初期設定は設定 OFF)	・「ターボタイマー設定」を参照し設定してください。	P50
	・エンジン始動後、15 秒以内にキーを OFF にしていませんか？	・エンジン始動後、15 秒以上経過してから、キーを OFF にしてください	—
	・動作不良エラー No.1 のブザー音が「ブー、ブー」と鳴っていませんか？ (⇒ P38)	・フットブレーキ検出が正常の場合、キーを OFF する時に、約 5 秒以上フットブレーキを踏んでいる可能性があります。 (キーを OFF する時は、約 5 秒以上フットブレーキを踏まないでください。)	—
リモコンで操作できる距離が極端に短い。	・リモコンのアンテナは伸ばしてありますか？	・リモコンのアンテナを伸ばしてください。	P46
	・リモコンを手等で包みこんでいませんか？	・リモコンを正しく操作してください。	P46
	・リモコンと車の間に遮蔽物がありませんか？ ※ 電気の流れる材質は、電波を通しにくいです。 (金属・鉄筋コンクリート・タン壁等)	・遮蔽物の少ない場所へ移動してください。 (「電波の到達距離について」を参照)	P46
	・リモコンの電池が消耗していませんか？	・新しい電池と交換してください。	P47

付録

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
エンジンが始動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ・バッテリーを交換しましたか？ ・本機の付け替えをしましたか？ ・車種別専用ハーネスを外しましたか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・IDコードを再登録(⇒P63～64)し、初期設定動作確認を行ってください。必ず初期設定を行わないと本機は動作しません。 	P15～18
	<ul style="list-style-type: none"> ・1回リトライをしていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・イモビ/インテリジェントキー装着車の場合イモビ/インテリジェントキー対応アダプター適合可能な場合はイモビ/インテリジェントキー対応アダプターを取付けてください。 	P60
		<ul style="list-style-type: none"> ・セル始動方式及び、セル延長時間、セルストップ時間の確認をおこなってください。 ・L端子配線はエンジン始動するが止めてしまう場合に配線してください。 	P22～24
	<ul style="list-style-type: none"> ・気温は低くないですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・気温が低いとエンジン自体のかけが悪いため、セル時間の設定を少し長めに設定してください。 ・セル延長時間を現状の設定より、長くしてください。 	P50～52
初めはエンジン始動していたが後日エンジン始動ができなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> ・動作不良エラーのNo.2ブザー音「ブーブーブーブー、ブーブーブー」と鳴っていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部車両によってはP.N検出がうまく行えずエラーが出る場合があります。フットブレーキ配線を行ってください。 	P38
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・動作が不安定 	<ul style="list-style-type: none"> ・アースを別の場所へ取り直してください。 	P12

アフターサービスについて

取付けには専門知識が必要です。取付けはお買い上げの販売店又は、カーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身での取付けサポートは行っていません。お客様ご自身で取付けられた場合は、保証が受けられません。

保証書

- ・保証書は、必ず「販売店名・購入年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- ・保証書に販売店名、購入年月日を証明するものが無いものは保証対象外とさせていただきます。

保証期間

ご購入日から3年間です。対象部分：メインユニット・アンテナユニット（リモコンは1年間）

※ 但し、付属品等の消耗品は除く。

修理を依頼される時

「初期設定動作確認」(⇒ P15～18)と「故障かな?と思ったら」(⇒ P72～74)を参照し点検をしていただいても、なお症状が改善されない時は販売店へご相談いただき故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

- ・保証期間内の場合
恐れ入りますが、取付け販売店に保証書をそえて、製品をご持参ください。保証規定に従って修理いたします。
- ・保証期間が経過している場合
取付け販売店にまずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- ・本製品の故障による代替品の貸出しは弊社では一切行っておりません。
- ・本製品の取付け・取外し等にかかる全ての費用は一切負担致しません。

アフターサービス等について

アフターサービス等についてご不明な点は販売店にお問い合わせください。

リモコンを紛失または破損

- ・リモコンを紛失や破損した時は、販売店にお問い合わせください。
- ・新しいリモコン（オープン価格）を購入された場合は、「IDコードの再登録」をご覧ください、IDコードの再登録を行ってください。(⇒ P63～64)

本書にしたがって、正常な取付け・接続・使用状態で製品に故障が生じた場合は、「保証書」の保証規定にしたがって修理いたします。ただし、上記以外の取付け・接続・使用状態による車の故障や事故等の付随的傷害・損害の保証については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

付録

製品仕様

リモコン

技術基準	RCR 標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429MHz 帯 2チャンネル任意切替式
識別 ID コード	1000 万種
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	± 4ppm 以内
周波数偏位	± 2.5KHz 以内
送信時間	3 秒以内
送信休止時間	2 秒以上
受信周波数	429MHz 帯 2チャンネル任意切替式
受信感度	- 116dBm (25℃) で安定動作
局発安定度	± 4ppm 以内
送受信アンテナ	ロッドアンテナ
動作温度範囲	- 20℃ ~ + 60℃
使用電池	リチウム電池 CR2025 × 2
ケース寸法	31.6 (W) × 55 (H) × 14.5 (D) mm
重量	26g (電池含む)

アンテナユニット

技術基準	RCR 標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429MHz 帯 2チャンネル任意切替式
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	± 4ppm 以内
周波数偏位	± 2.5KHz 以内
送信時間	3 秒以内
送信休止時間	2 秒以内
受信周波数	429MHz 帯 2チャンネル任意切替式
受信感度	- 116dBm (25℃) で安定動作
送受信アンテナ	ロッドアンテナ
動作温度範囲	- 20℃ ~ + 70℃
電源電圧	12V 車専用 (DC8V ~ 16V)
待機電流	平均 7mA 以下 (メインユニット接続、WARNING ランプ OFF) 平均 12mA 以下 (メインユニット接続、WARNING ランプ ON)
ケース寸法	37.4 (W) × 60 (H) × 18.4 (D) mm
重量	21g

メインユニット

リレー容量・個数	30A (IG1) 20A × 4 (IG2・ACC・ST1・ST2)
寸法	67 (W) × 115 (H) × 28 (D) mm
重量	259g (コード含む)

双方向リモコンエンジンスターター&ターボタイマー Be Time A-124LW 取付け・接続説明書

Ver.1 137090

本面は取付け、接続の概略です。取付けの際には、必ず取扱説明書の詳細を確認してから取付けてください。

■接続概略図及び取付け手順

取付け手順

- ①車種別専用ハーネスを車両側コネクターと接続します。
- ②アンテナコードの端子をメインユニットのアンテナコネクターに差込みます。
- ③車体ボディアースへアース線を確実に接続します。
- ④車種別専用ハーネスとメインユニットを接続します。
※車種別専用ハーネスの種類によってはメインユニットとの灰色コードのつなぎ換えが必要となります。(取扱説明書P13)

取付け手順⑤

⑤接続確認音「ドレミファソラシド」が鳴るのを確認し、初期設定動作確認(右ページ1~4)を行ってください。

※取付け手順における注意点

アースボルトとアース線の間に樹脂などを挟んでいる(右図)と初期設定動作確認が行えない為、車両鉄板部に確実に締めてください。

上記取付け手順①~④の接続を順番通りに行なわないとメインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴らない場合があります、初期設定動作確認を行なうことができません。必ず取付け手順に従って取付けを行なってください。

取付け手順①

車両キーシリンダー側コネクター ← 車両側コネクター

※絶縁テープを貼って保護してください

車種別専用ハーネス(別売)

取付け手順②

アンテナコード

コード長さ(約1.5m)

アンテナユニット

取付け手順③

アース線(黒/白コード(約1.0m))

※車体ボディアース(金属部)へしっかりと固定してください

30Aヒューズ

メインユニット

WARNINGランプ

取付け手順④

メインユニットハーネス

取付け手順②

メインユニット側面

4Pコネクター

12Pコネクター

茶色 当社別売セキュリティシステム接続 フットブレーキ(1m)

黄色 ドアアンロック(オプション)

紫色 L端子(3m)

白色 ドアポジション(オプション)

桃色 オプション1(イモビ対応アダプター/セキュリティアラーム対応アダプター)

緑色 ドアロック(オプション)

オリーブ オプション2(オートスライドドアユニット)

ハザード(オプション)

青色 カーテシ(オプション)

黒 Pポジション(オプション)

イモビ対応アダプター(オプション)

○オプション及び各種接続が必要な場合のみ4P、12Pコネクタの差込みとなります。

端子No.	信号名
1	フットブレーキ(黄)
2	L端子(白)
3	オプション1(イモビ対応アダプター/セキュリティアラーム対応アダプター)
4	オプション2(オートスライドドアユニット)
5	カーテシ(青)
6	未使用
7	セキュリティシステム(茶)
8	ドアアンロック(紫)
9	ドアポジション(桃)
10	ドアロック(緑)
11	ハザード
12	Pポジション

■初期設定動作確認

下記の手順に従って初期設定動作確認を行ってください。**初期設定動作確認を行わないと、本機は作動しません。**

⚠ 事前確認事項

- 取付け及び接続、アース線(黒/白コード)固定後、接続確認メロディ音「ドレミファソラシド」を確認してから、必ず下記の初期設定動作確認を行ってください。
- お客様の車のバッテリーの交換や、本機の付け替えなどで、バッテリーや車種別専用ハーネスを取外した場合には下記の初期設定動作確認及び、IDコードの再登録(取扱説明書P63・64参照)を行ってください。
- 動作確認前に安全のため、必ずパーキングブレーキをかけてください。

初期設定動作確認手順

※下記操作を行わないとリモコンでエンジン始動できません。

- キーをACC(アクセサリ)位置まで回してとめてください。ラジオ等のアクセサリ電源がONになることを確認してください。

⚠ 注意

アース線(黒/白コード)の取付け固定がボディアースに確実にされているか再確認してください。
- キーをONの位置まで回してとめてください。**約10秒以内**にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。

⚠ 注意

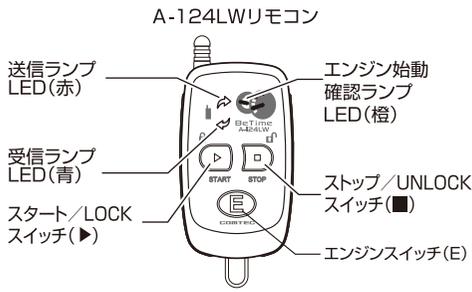
セルを回さずにキーをONで5秒以上停止した場合に、メインユニットから毎回ブザー音が「ピッピッ」と鳴りますが、本体の仕様のため異常ではありません。
- 2の操作後、キーをOFFにせずに**10秒以内**にエンジンを始動してください。エンジンが始動している状態で**約5秒後**にメインユニットのブザー音が「ピーッピッ」と鳴ります。なお、L端子(白コード)を配線している場合は、ブザー音が「ピーピーピー」に変わります。

⚠ 注意

この操作を行うことにより車両情報を認識します。**上記操作を行いメインユニットのブザー音が鳴らないとリモコンでエンジン始動できません。**
- キーをOFFの位置まで回して、キーを抜いてください。

以上で本機の初期設定動作確認は完了です。リモコンでエンジンを始動して下さい。(取扱説明書P40)

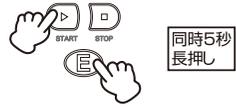
リモコンスイッチ設定



リモコン操作をする時は、アンテナを伸ばしてください。

設定開始

エンジンを停止し、キーを抜いた状態でリモコンのエンジンスイッチ(E)とスタートスイッチ(▶)を5秒間同時に長押しすると、リモコンからブザー音が「ピッ」と鳴り、設定モードに入ります。



設定操作方法

↓	スタートスイッチ(▶)1回押し
→	ストップスイッチ(■)1回押し



注意

- ・設定モードで20秒間リモコンスイッチの設定操作を行わないと、タイムアウトになり、リモコンからブザー音が「ブー」と鳴って設定モードが終了します。なお、この時に変更した設定内容は**全て無効**になります。
- ・設定を変更し、設定登録の操作を行わないと、変更された設定内容は**全て無効**になります。

オールリセット (初期設定) にする

設定モード状態でリモコンのエンジンスイッチ(E)とスタートスイッチ(▶)とストップスイッチ(■)を5秒間同時に長押しすると、メインユニットからブザー音が「ブーブー」と鳴り、全ての機能が初期設定になります。
※エンジンスイッチ(E)とストップスイッチ(■)で設定登録作業をする必要はありません。

動作不良エラー確認表

メインユニットからブザー音を鳴らすことで、製品の作動状態やエラーを確認することができます。

No.	ブザー音	名称	内容/解除方法
1	ブー、ブー ○ ○	フットブレーキ 検出エラー	本機作動中にフットブレーキを踏んだ時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかキーをONの位置まで回してください。 【対策】フットブレーキ線の接続を確認してください。
2	ブーブーブー、ブーブーブー ○○○○ ○○○○	P.N 検出 エラー	本機作動中にシフトレバーを[P] (パーキング) 又は[N] (ニュートラル) 以外に動かしてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでエンジンをスタートさせるか、キーをONの位置まで回してください。 シフトレバーが[R] (パーキング) にて、リモコンでスタート後エンジンがかからず動作しない場合。 【対策】①フットブレーキ線を接続し、フットブレーキを1度踏んでください。 ②イモビライザー装着車の場合、イモビ対応アダプターの取付・接続方法の確認をしてください (イモビ対応アダプターの取扱説明書参照) ※上記対策後、再度リモコンでスタートさせるか、キーをONの位置まで回してください。
3	ブップブップ、ブップブップ ○○○ ○○○	Pポジション 検出エラー	Pポジション配線した場合、本機作動中にシフトレバーを[P] (パーキング) 以外に動かしてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかキーをONの位置まで回してください。 【対策】Pポジション線の接続を確認してください。(オプションBe-963取説参照)
4	ブップブップブップ、ブップブップブップ ○○○○ ○○○○	初期設定 車両情報未検出 エラー	取付けを行った後、取扱説明書 (初期設定動作確認) をもとに、確実にキーでエンジン始動させて車両情報の認識を行ってください。 初期設定動作確認操作を行わないとリモコンでエンジン始動できません。
5	ブッ、ブッ ○ ○	ACC検出 エラー	本機作動中にキーをONまで回さずにACCで止めてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかキーをONの位置まで回してください。
6	ブーブッ、ブーブッ ○○ ○○	L端子配線 違いエラー	L端子以外の線に間違えて配線したときの状態。解除するには正しく配線後、再度リモコンでスタートさせるかキーをONの位置まで回してください。 【対策】L端子線の接続を確認してください。
7	ブーブップ、ブーブップ ○○○ ○○○	リモコンID 未登録	リモコンでID登録してください。
8	ブップブーブー、 ○○○○ ブップブーブー ○○○○	エンジン始動 検出エラー	リモコンでエンジンをスタート後、2回エンジン始動が失敗した状態。解除するには、キーをON位置まで回してください。 【対策】①エンジンが始動するまでセルが回らない場合 セルストップ方式がオートの設定の場合はセル延長時間を現状の設定より延長、マニュアルの場合はセルストップ時間を現状の設定より長めに設定してください。 ②イモビライザー装着車の場合イモビ対応アダプター適合可能な車種は、イモビ対応アダプターを取付けてください ③エンジン始動検出が自動検出できない場合、L端子線の接続を確認してください。 ④インテリジェントキー装着車の場合 インテリジェントキー対応ハーネスの適合車種であればインテリジェントキー対応ハーネスを取付けてください。
9	ブーブップブップ、 ○○○○ ブーブップブップ ○○○○	カーテン検出 エラー	カーテン配線した場合、リモコンでエンジン始動中ドアを開いてエンジンが停止したときの状態。解除するには、ドアを開けて再度リモコンでエンジン始動するか、キーをONの位置まで回してください。 【対策】カーテン線の接続を確認してください。 △ 注意 車両によりルームランプ点灯中はエンジンを始動することができません。ルームランプが消灯してからエンジンを始動してください。
10	ブーブップブップブップ、 ○○○○○○○○ ブーブップブップブップ ○○○○○○○○	通信エラー	アンテナユニットとメインユニット間の通信に異常がある状態。 【対策】接続ケーブルの接続不良、差込み状態を確認してください。 接続ケーブルの断線の可能性もあります。
11	ブップブー、ブップブー ○○○ ○○○	バッテリー電圧 低下エンジン 始動エラー	車両バッテリー電圧が低下している可能性がある為、エンジン始動が出来ない状態。 【対策】バッテリー電圧を確認してください。

※○は約0.2秒を示します。○は約1秒を示します。○○は約2秒を示します。
※再度エラーブザー音を確認したい場合は、リモコンのエンジンスイッチ(E)を押した後、リモコンのLED(赤)が点滅している間にストップスイッチ(■)を押してください。

①アイドル時間
LED(青)点滅
ブッ

10分 LED(青)点滅
ブッ

20分 (初期設定)
LED(赤)点滅
ブップ

30分 LED(橙)点滅
ブップブップ

40分 LED(赤、橙)点滅
ブップブップブップ

②ターボタイマー
LED(青)点滅
ブッ

設定OFF (初期設定)
LED(青)点滅
ブッ

30秒 LED(赤)点滅
ブップ

1分 LED(橙)点滅
ブップブップ

5分 LED(赤、橙)点滅
ブップブップブップ

※設定を変更しても、エンジンを始動して15秒以上経過しないと、ターボタイマーは作動しません。

③セルストップ方式
LED(青)点滅
ブッ

オート (初期設定)
LED(青)点滅
ブッ

マニュアル
LED(赤)点滅
ブップ

④セル延長時間
(オートのみ有効)
LED(青)点滅
ブッ

0秒 LED(青)点滅
ブッ

0.2秒 LED(赤)点滅
ブップ

0.4秒 (初期設定)
LED(橙)点滅
ブップブップ

0.6秒 LED(赤、橙)点滅
ブップブップブップ

0.8秒 LED(青、橙)点滅
ブー

1.0秒 LED(青、赤)点滅
ブーブッ

△ 注意 間違った設定すると、セルモーターの故障につながる恐れがあります。

⑤セルストップ時間
(マニュアルのみ有効)
LED(青)点滅
ブッ

1.0秒 (初期設定)
LED(赤)点滅
ブップ

1.3秒 LED(橙)点滅
ブップブップ

1.5秒 LED(赤、橙)点滅
ブップブップブップ

2.0秒 LED(青、橙)点滅
ブー

2.5秒 LED(青、赤)点滅
ブーブッ

3.0秒 LED(青、赤、橙)点滅
ブーブップ

△ 注意 間違った設定すると、セルモーターの故障につながる恐れがあります。

⑥グロー時間※
LED(青)点滅
ブッ

5秒 (初期設定)
LED(青)点滅
ブッ

8秒 LED(赤)点滅
ブップ

※ガソリン車は5秒に設定します。ディーゼル車の一部車両は8秒に設定します。リモコンでエンジン始動して、問題がない場合は、設定の変更は不要です。

⑦オートロック
LED(青)点滅
ブッ

設定OFF (初期設定)
LED(青)点滅
ブッ

設定1
LED(赤)点滅
ブップ

設定2
LED(橙)点滅
ブップブップ

設定1…リモコンでドアアンロック後、約30秒以内にキーをONにするか、ドアを開けると、オートロックが解除します。(カーテン線の接続が必要です)
設定2…リモコンでドアアンロック後、約30秒以内にキーをONにすると、オートロックが解除します。(ドアを開けても、オートロックは解除できません)

⑧カーテン検出
LED(青)点滅
ブッ

設定OFF
LED(青)点滅
ブッ

設定1 (初期設定)
LED(赤)点滅
ブップ

設定2
LED(橙)点滅
ブップブップ

設定1…リモコンでエンジン始動中ドアを開けると約15秒後にエンジンを停止します。(カーテン線の接続が必要です)
設定2…リモコンでエンジン始動中ドアを開けると即、エンジンを停止します。(カーテン線の接続が必要です)
△ 注意 カーテン配線を行った場合、車両によりルームランプ点灯中はエンジンを始動することができません。ルームランプが消灯してからエンジンを始動してください。

⑨WARNINGランプ
LED(青)点滅
ブッ

設定1
LED(青)点滅
ブッ

設定2 (初期設定)
LED(赤)点滅
ブップ

設定1…リモコンのスタートスイッチ(▶)2度押し(セキュリティ感観LEDスタート)するとWARNINGランプが点滅、リモコンのストップスイッチ(■)2度押し(セキュリティ感観LEDストップ)すると消灯します。(セキュリティ感観LED連動)
設定2…キーをOFFするとWARNINGランプを点滅、キーをONするとWARNINGランプを消灯します。(キー連動)

⑩WARNINGランプ
色選択
LED(青)点滅
ブッ

青色 (初期設定)
LED(青)点滅
ブッ

水色 LED(赤)点滅
ブップ

緑色 LED(橙)点滅
ブップブップ

黄色 LED(青、橙)点滅
ブップブップブップ

赤色 LED(赤、橙)点滅
ブー

紫色 LED(青、赤)点滅
ブーブッ

白色 LED(青、赤、橙)点滅
ブーブップ

7色 (全色)
LED(青、赤、橙)
早い点滅
ブーブップブップ

⑪通信周波数切替※
LED(青)点滅
ブッ

チャンネル1 (初期設定)
LED(青)点滅
ブッ

チャンネル2
LED(赤)点滅
ブップ

※リモコンでエンジン始動して、通信に問題がない場合は、設定の変更は不要です。

⑫ディスプレイモード
LED(青)点滅
ブッ

有効
LED(青)点滅
ブッ

無効 (初期設定)
LED(赤)点滅
ブップ

ディスプレイモードは販売店で本機をディスプレイとして展示する場合のみに設定します。
通常は無効に設定してください。

備考: ■はリモコンからのブザー音を示します。

設定を終了する場合

設定登録

リモコンのエンジンスイッチ(E)とストップスイッチ(■)を5秒間同時に長押しすると、メインユニットからブザー音が「ビービー」と鳴り、設定が登録されます。

※最後に必ず設定登録を行わないと設定が変更されません。